

第1次滝沢市総合計画

地域別計画

Regional plan

1 地域別計画の策定に当たって

基本構想が目指す「幸福感を育む環境づくり」の基盤を構築するに当たり、市民の想いを実現する仕組みを共有するため、市民自らの行動による地域づくりの根幹となる「地域別計画」を策定しました。地域別計画は、地域に暮らす全ての人々の「こんな地域にしたい」との想いを将来像として示した、「地域デザイン（※1）」とその実行計画である「地域ビジョン（※2）」に基づく活動を継承し、「地域の課題は地域で解決する」ことを基本方針として、市民が主体となって地域づくりを進める行動計画です。

また、これまでの多様な主体による地域のつながりや絆に根差した、協働、連携による地域づくりを深化させ、市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の姿を実現するために、「幸福実感一覧表」を基に、「めざす地域の姿」や幸せづくりの活動内容などを記載しています。

2 地域別計画の期間

✓ POINT!

基本計画における地域別計画の計画期間は、平成27年度から令和4年度までとし、中間年で見直しを行います。

地域別計画は平成27年度から令和4年度までの8年間とし、中間年に見直しを実施することとします。

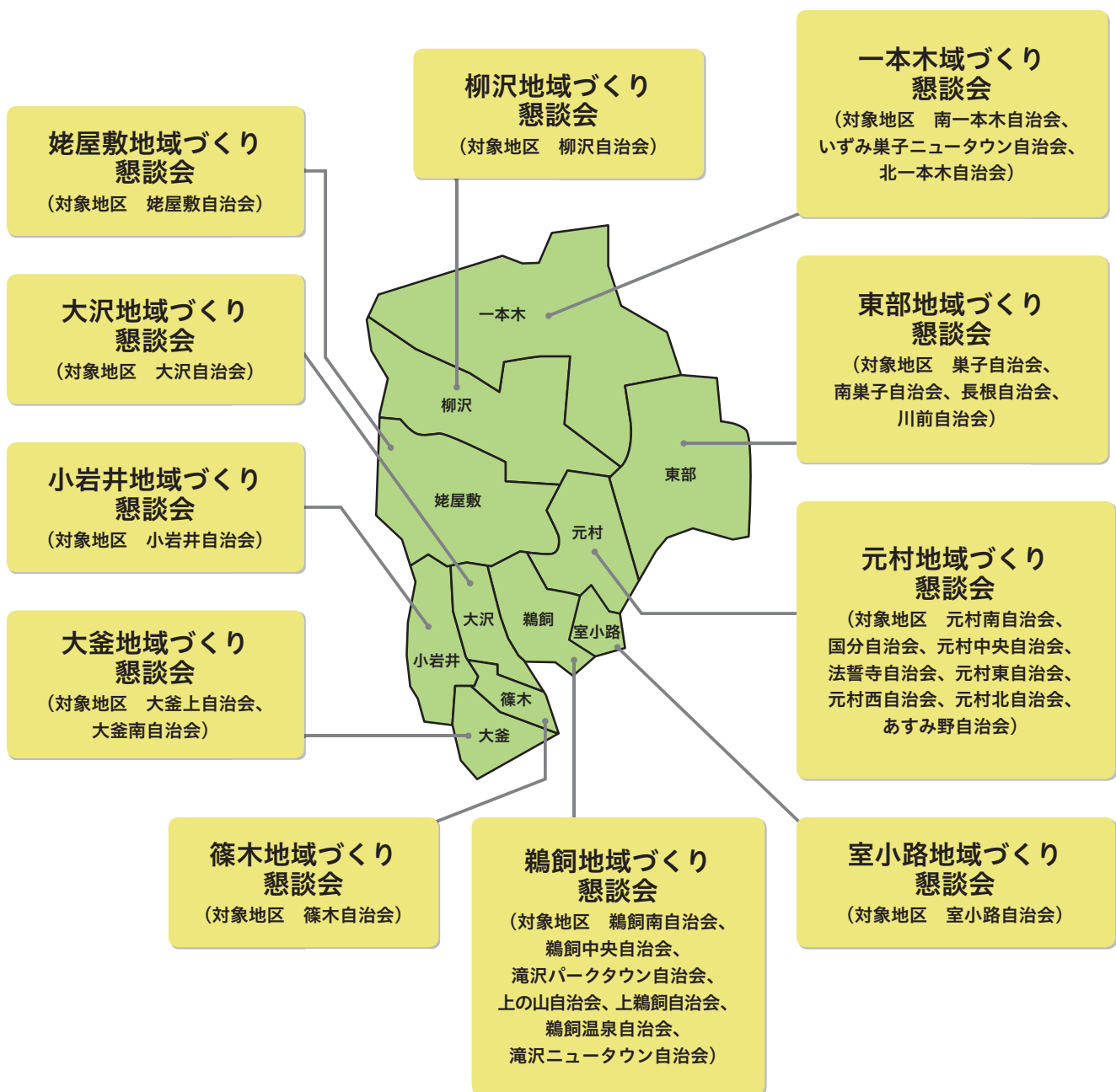
前期基本計画期間に相当する前半の4年間は計画の浸透と実行への機運の醸成期間と考え、後期基本計画期間に相当する後半の4年間では、基本構想に掲げる「幸福感を育む地域環境の創出」を推進し、構想の実現を目指します。

3 計画地域

滝沢市に存する単位自治会（※3）を基本とし、単独又は複数の単位自治会の組合せとします。
市内には明治期の合併前の旧村（大釜村、篠木村、大沢村、鶺鴒村、滝沢村）単位に独自の歴史文化があることから、それらを尊重した形で区域を基礎とし市内11の地域で策定しました。

策定に当たっては、単位自治会や地域まちづくり推進委員会（※4）の他、公益活動を行う団体及び個人が参加して「地域づくり懇談会」を開催し話し合いを行い取りまとめました。

今後、各地域別計画の取組を進めながら、基本構想が掲げる「新たな地域コミュニティ」に向けた仕組みづくりを進めてまいります。



4 計画を構成する主な内容

(1)めざす地域の姿

地域デザインの「将来像」を点検し、市民が抱く生活実感に基づく「気づき」から、地域の課題を明らかにし、より満足した幸せな人生を地域で送るために、地域の市民自らが課題を解決に導くための方向を示したものが「めざす地域の姿」(=地域の市民が共有する地域ビジョン)です。

(2)地域の宝物

地域には歴史や文化に育まれてきた、様々な地域資源(自然、景観、伝統芸能や祭り、歴史・文化遺産、社会活動など)が息づいています。

地域資源は、地域をより豊かにし、人々の幸せを醸成するための生活環境の基盤であり、地域の強み、長所、自慢したい資源を発掘し、磨きをかけることで「他の地域とは同じでない」ことが幸せづくりにとっての基盤(=共通のプラットフォーム)となる可能性を秘めています。

このことから、次世代に継承したい地域資源を「地域の宝物」としました。

(3)地域情報

市民主体の地域づくりを推進していくため、「地域の将来人口の変化予測」「地域のコミュニティ施設」など、幸せづくり活動を支える基礎的なデータを地域の市民が共有する必要があります。

地域の市民が共有すべき基礎的なデータを「地域情報」としました。

(4)私たちの地域の課題

市民一人一人が地域で幸せに暮らす上で、地域が抱えている中長期的な課題を明らかにすることが重要となります。その課題を解決するために、自ら行動すること、みんなが行動すること、地域ぐるみで行動することを考え、幸せづくり活動に反映させることが、市民主体の地域づくりの推進力に繋がります。

このような、地域の課題を地域の住民の気づきから集め、集約したものを「地域の課題」としました。「地域の課題」のうち、地域整備の課題については、市民の想いを記したものであり、課題によっては、解決に向けて市行政が担う市域全体計画との調整が必要となります。

(5) 幸せづくり計画

ア 地域づくりの基本方針

「めざす地域の姿」を実現するために、どのような状態になると将来、めざす地域の姿が実現されるかを考え、方向性を明らかにし、そのための行動を記したものを「地域づくりの基本方針」としました。

イ 地域の幸福環境要素と活動モデル

地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにしたものを「地域の幸福環境要素と活動モデル」としました。

(6) 私たちのあゆみ(活動記録)

今までの地域活動を蓄積し、市民主体の地域づくり活動のあゆみを確認し、共有するために、地域ごとの主要な活動記録を整理したものを「私たちのあゆみ」として整理しました。



地域別計画にかかる用語解説

※1 P290

地域デザイン⇒滝沢地域デザインは、平成12年度にこれから25年後（令和7年）の社会情勢を見据え、快適な生活環境が整備された滝沢市（策定時は、滝沢村）の将来像を描き、住民の皆さんの発想や意見が反映された整備方針を策定したものです。

滝沢市の全体構想（都市計画マスタープランを含む）、地域別の将来目標、道路ネットワーク構想、市内10地域の地域別のまちづくり方針で構成されています。

※2 P290

地域ビジョン⇒滝沢地域ビジョンは、平成12年度に策定した「地域デザイン」にある「地域の思い」を、第5次滝沢市（村）総合計画の基本構想における基本的な考え方に沿って、平成17年度から26年度まで10年間の中で、実現できるようにした具現化した実行計画です。第5次滝沢市（村）総合計画では地域ごとの計画として位置付けられています。地域ごとの基本方針として地域課題解決の「地域」と「市行政」の役割分担について明確化したまちづくり活動の指針となっています。

※3 P291

単位自治会⇒自治会は、住所を置くと加入が求められる、地縁によるコミュニティ団体です。滝沢市内には30地区に単位自治会が組織され、地域の生活環境における身近な課題解決がその活動目的であり、「地域のことは、地域で、責任を持って行う」という自己決定・自己責任の自治の基本を実践する団体です。

※4 P291

地域まちづくり推進委員会⇒滝沢地域デザインの実行計画である地域ビジョンを各地域で推進するために、市内10地域で「地域まちづくり推進委員会」が活動しています。委員構成は各推進委員会で異なり、単位自治会が主体となっているものから公募によるものまで様々な形態があります。平成15年度から本格的な活動をスタートし、自分たちの地域を自分たちの手で、より良いものとするために、広い範囲で活動しています。

地域別計画

幸福感を育む市民主体の地域づくり計画

1 小岩井地域 (p297)

2 大釜地域 (p307)

3 篠木地域 (p317)

4 大沢地域 (p329)

5 鶉飼地域 (p339)

6 姥屋敷地域 (p349)

7 元村地域 (p359)

8 室小路地域 (p369)

9 東部地域 (p379)

10 柳沢地域 (p389)

11 一本木地域 (p399)

全地域共通の計画 (p410)



小岩井地域

しあわせづくり活動プラン

～すこやかでやすらぎのある地域づくりを進めよう～



小岩井駅

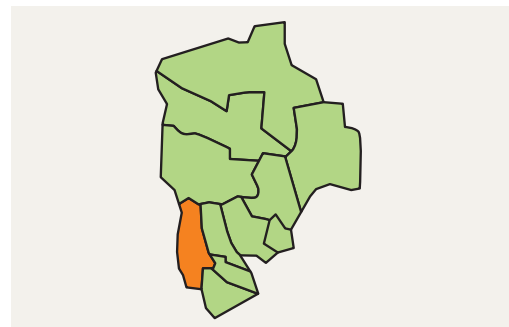
目指す！
地域の姿

水よく、風よく、情けよく、牧歌的情緒漂う 小岩井

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、滝沢市の西南端に位置し、西側は雫石町に接し、北部は小岩井農場、中心域は区画整理された水田が広がり、南部の小岩井駅を中心とするエリアは住宅化が進んでいます。小岩井駅の南側には、盛岡西リサーチパーク(産業支援サービス業向け分譲地)が整備されています。

地域では、「あんぜん・あんしん・つながり」をテーマに地域づくりに取り組んでいます。



● 小岩井地域づくり懇談会(小岩井自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・
景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物
があります。



夏祭り



スノーバスターズ



賢治の碑



小岩井の石割桜



小岩井駅



岩手山

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

小岩井地域の情報

	小岩井地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,113	3.8%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	901	4.0%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	285	31.6%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	133	14.8%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,057	3.9%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	47	4.4%	1,399	5.1%		
2次産業	237	22.4%	6,100	22.4%		
3次産業	773	73.1%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	2,113	3.9%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	76	3.6%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	207	9.8%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	299	14.2%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	409	19.4%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	445	21.1%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	677	32.0%	13,332		24.4%

小岩井地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
JR小岩井駅	大釜風林19-2	686-2028	ふうりん保育園	大釜風林59-17	686-2155
小岩井郵便局	大釜風林62-12	686-2910	風の子くらぶ	大釜風林42-185	601-8467
小岩井公民館	大釜風林492		小岩井運動場	大釜大清水338-2	687-1466
※小岩井コミュニティセンター	大釜風林18-7	684-2111	盛岡西リサーチパーク	大釜風林地内	684-2111

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携で取り組む課題)

重要度

- ① 小岩井駅舎の改築と駅前広場(南口を含む)の整備(P&Rを含む)が必要です。
- ② 公民館の改築が必要です。(コミセンとの一体化利用を可能とする)
- ③ 越前堰の改修(洪水対策)が必要です。
- ④ 下水道の整備促進が必要です。
- ⑤ 歩行者の安全対策(特に「ニュータウン通り」「本通り」「駅南通り」)が問題です。
- ⑥ 高齢者が気軽に憩える施設(兼・住民交流施設&防災施設)の整備が必要です。
- ⑦ 盛岡西リサーチパークから国道46号への接続道路の整備が必要です。
- ⑧ 住宅団地(特に25班B)への取付道路(私道)の公道化が必要です。
- ⑨ 健康づくりの運動施設(体育館)の整備が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 非常時の安否確認システムの整備が必要です(自主防災組織と融合させる)。
- ② 高齢者・要支援者の見守り活動の推進が必要です。
- ③ 安心して子育てができる環境の整備が必要です。
- ④ 小岩井駅を核とした地域のにぎわいづくり事業の展開が必要です。
(食料品・日常生活必需品を扱う小店舗の設置は必須)
- ⑤ 防犯・交通安全意識の高揚が必要です。
- ⑥ 住民総参加活動の創出が必要です。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

地域住民が交流を図りながら、暮らしやすい活気あるコミュニティをつくろう

- ▶ 1. 住民の自治意識を高め、地域活動への積極的な参加を呼びかけます。
- ▶ 2. 多くの住民が参加しやすい行事を設けて、住民同士の交流が活発に行われるよう図ります。
- ▶ 3. いきいきクラブ(介護予防)など住民相互扶助を図る活動を推進します。
- ▶ 4. 子ども会育成会やPTAなど子育てのための活動を支援します。
- ▶ 5. 子育て講習会などを開催し、子育てを支援します。
- ▶ 6. スクールガード・安全パトロールや高齢者の見守り活動を積極的に行い、安心安全な地域づくりを推進します。
- ▶ 7. 一世帯一灯運動を展開し、夜間の暗い空間を少なくします。
- ▶ 8. 地域情報を伝達するため、住民に親しまれる広報を発行します。

基本方針 2

岩手山や奥羽山脈の山並みを背景にした景観づくりと、快適でうるおいある住環境づくりを進めよう

- ▶ 1. 岩手山の眺望景観は当地域のかけがえのない財産であるという意識を地域全体で共有します。
- ▶ 2. 地域の自然とふれあいながら景観をゆっくり楽しめる遊歩道を選定し、案内板等を設置します。
- ▶ 3. 草刈り・花壇づくりなど地域環境美化を積極的に進めます。
- ▶ 4. ゴミ集積所の整備(増設)と適正な管理を推進します。
- ▶ 5. 越前堰に親水施設を整備し、ホタルが飛び交う環境づくりをめざします。

基本方針 3

小岩井駅と駅周辺施設を活用して、地域の利便性を確保したまちづくりを図ろう

- ▶ 1. 小岩井駅を地域の交通拠点・観光の玄関口として活用していきます。
- ▶ 2. 地域住民が移動手段としてなるべく公共交通機関を利用します。
- ▶ 3. 列車運行本数の増大を関係機関に働きかけます。
- ▶ 4. 改築後の駅舎の中に住民が気軽に集い、交流できる空間を設けます。
- ▶ 5. 盛岡駅へのアクセスの良さを地域外へも積極的にPRし、地域の定住人口の増加をめざします。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
(子どもに)良い食習慣が身についていること
- ② 象徴指標
家族一緒に食事する回数(1週間)
- ③ 活動モデル
家族一緒に笑顔で食事する

- ④ どのように具体的に取り組むか
食事のときにはテレビを消す
- ⑤ 活動団体・組織
各家庭



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
- ② 象徴指標
子どもが安全に通学できている人の割合
- ③ 活動モデル
(子どもが)毎朝、スクールガードや近所の人と挨拶をする

- ④ どのように具体的に取り組むか
(大人は)思いやりのあるまなざしで子どもに声をかける
- ⑤ 活動団体・組織
スクールガード、子ども会育成会、PTA ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ② 象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③ 活動モデル
地域の方々に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える

- ④ どのように具体的に取り組むか
行事や集会の際に自らを名乗るよう心がけお互いの名前を呼び合う
- ⑤ 活動団体・組織
夏まつり実行委員会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

近所の子どもと顔見知りになる

④ どのように具体的に取り組むか

地域行事には家族が揃って参加する

⑤ 活動団体・組織

子ども会育成会、PTA、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること

② 象徴指標

趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合

③ 活動モデル

自分の趣味や特技を一緒に出来る仲間を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

地域行事やサークル活動に参加し交流を深める
広報「もりっこ」で紹介する

⑤ 活動団体・組織

文化祭実行委員会、ふうりん会、自治会
(文化部、婦人部)



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること

② 象徴指標

地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合

③ 活動モデル

自治会活動など地域活動に積極的に参加する

④ どのように具体的に取り組むか

老人クラブやいきいき活動に参加する
子どもたちに昔あそびなどを教える機会を持つ

⑤ 活動団体・組織

保健推進員、民生児童委員、
ふうりん保育園、自治会(福祉部)



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	(子供に) 良い食 習慣が身につい ていること	地域の皆さんに (子どもが) 見 守られていること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちが地域 で遊んだり、学 んだりする機会に 恵まれていること	自ら学び、趣味 や地域活動に積 極的に取り組め る機会があること	心身ともに元気に なれる趣味や活 動を通して、地域 に役に立つ機会 があること
Point						
象徴指標	家族と一緒に 食事をする回数 (1週間)	子どもが安全 に通学できると 思っている人の 割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	参加したいと思 える地域行事 の数	自分の趣味や 特技を披露で きる機会が地 域にある人の 割合	地域に役に立 つ機会を持って いると感じて いる人の割合
活動 モデル	家族と一緒に笑 顔で食事する	毎朝、スクール ガードや近所の 人に挨拶する	地域の方々に挨拶 をし、地域の方 の名前と顔を 覚える	近所の子どもと 顔見知りになる	自分の趣味や特 技と一緒に出来 る仲間を持つ	自治会活動など 地域活動に積極 的に参加する
Point						
どのように 具体的に 取り組むか	食事のときには テレビを消す	思いやりのある まなざしで子ど もに声をかける	行事や集会の 際に自らを名乗 るように心がけ お互いの名前 を呼び合う	地域行事には 家族が揃って 参加する	①地域行事や サークル活動 に参加する ②広報「もりっ こ」で紹介する	①老人クラブや いきいきクラブ に参加する ②子どもたちに 昔あそびなどを 教える
活動団体 組織	各家庭	スクールガード 子ども会育成会 PTA ほか	自治会 夏まつり実行委員会 ほか	自治会 子ども会育成会 PTA ほか	自治会 (文化部・婦人部) 文化祭実行委員会 ふうりん会	自治会(福祉部) 保健推進員 民生児童委員 ふうりん保育園

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマと推進体制を決定 第1部会(駅舎) 第2部会(環境) 第3部会(学校)
2003年 (H15年)	<ul style="list-style-type: none"> ・EM菌の培養と河川への投下・家庭配布 ・小岩井主要道路「通称名」標示看板設置事業(通称名を決定)
2004年 (H16年)	<ul style="list-style-type: none"> ・EM菌の培養と河川への投下・家庭配布 ・小岩井主要道路「通称名」標示看板設置(13路線、23ヶ所)
2005年 (H17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・EM菌の培養と河川への投下・家庭配布 ・小岩井地区主要道路街灯増設事業(防犯灯52基を増設) ・「滝沢地域ビジョン」(2005～2014年度)が策定される
2006年 (H18年)	<ul style="list-style-type: none"> ・賢治詩碑設置事業(小岩井駅前に詩碑を設置)
2007年 (H19年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園手洗場兼用水飲み場設置事業(第10ニュータウン) ・越前堰水害対策事業(学習会開催)
2008年 (H20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園手洗場兼用水飲み場設置事業(みどり公園) ・越前堰水害対策事業(学習会開催) ・小岩井駅周辺整備事業(三陸鉄道「田野畑駅」視察)
2009年 (H21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園手洗場兼用水飲み場設置事業(第1公園) ・越前堰水害対策事業(学習会開催、監視カメラ設置2箇所) ・小岩井駅周辺整備事業(JR「船岡駅」視察) ・テレビ電波障害対策事業(学習会開催)
2010年 (H22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰水害対策事業(水害防止工事一応急対策一の実施) ・小岩井駅周辺整備事業(JR「羽後長野駅」「神宮寺駅」視察) ・下水道整備事業(学習会開催—整備手法について—) ・テレビ電波障害対策事業(共同受信施設組合設立)

2011年（H23年）	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰水害対策事業（水害防止工事―応急対策―の実施） ・小岩井駅周辺整備事業（交通政策課と協議） ・下水道整備事業（学習会開催） ・テレビ電波障害対策事業（共同アンテナ設置―南小岩井地区） ・第2公民館周辺整備事業（フェンス設置&ベンチ製作）
2012年（H24年）	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰水害対策事業（水害防止工事―応急対策―の実施） ・小岩井駅周辺整備事業（交通政策課と協議） ・下水道整備事業（学習会開催―住民対象―の実施、意向調査）
2013年（H25年）	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰水害対策事業（水害防止工事―応急対策―の実施） ・小岩井駅周辺整備事業（交通政策課と協議） ・下水道整備事業（下水道課と協議）
2014年（H26年）	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備事業（第1期工事着工、都南浄化センター見学会）

小岩井地域づくり懇談会

小岩井自治会役員、小岩井地域まちづくり推進委員会、小岩井自治会婦人部、老人クラブ、子ども会育成会、滝沢南中学校PTA、地域内事業者、地域住民、大学生（順不同）

大釜地域 幸せづくり活動プラン

～夢がかなうまち大釜～



目指す!
地域の姿

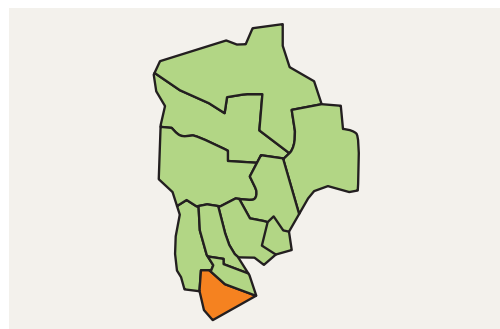
みんなで創るふれあいと活気あるまち 大釜

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、前九年の役で源義家が巨大な釜で兵馬に給仕したことから大釜と呼ばれ、現在も八幡神社、八幡館山などにその名が残っている歴史の深い地域です。

地域内には雫石川が流れ、近年まで水田を中心とする農村地帯として発展してきました。

現在では国道46号とJR田沢湖線などの広域交通網の発達により市の南の玄関口として都市化がすすみ新しいまちづくりが進んでいます。



- 大釜地域づくり懇談会
(大釜上自治会、大釜南自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

大釜地域の情報

	大釜地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,733	4.9%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	1,092	4.9%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	215	19.7%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	119	10.9%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,340	4.9%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	150	11.2%	1,399	5.1%		
2次産業	261	19.5%	6,100	22.4%		
3次産業	929	69.3%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	2,733	5.0%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	159	5.8%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	332	12.1%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	484	17.7%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	580	21.2%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	517	18.9%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	661	24.2%	13,332		24.4%

大釜地域公共施設等情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
大釜保育園	大釜田の尻42-1	687-3030	※勤労者体育センター	大釜高森58-5	687-1466
大釜幼稚園	大釜外館117-5	687-3030	盛岡西警察署大釜駐在所	大釜八幡前117-2	687-2843
※篠木小学校	篠木中屋敷60	687-2064	滝沢大釜簡易郵便局	大釜竹鼻167-1	687-5414
※滝沢南中学校	鵜飼滝向11-1	687-2021	JR大釜駅	篠木明法22-16	699-1171
岩手看護短期大学	大釜千が窪14-1	687-3864	第1篠木なかよしクラブ	篠木明法22-16	687-4497

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政が連携し取り組む課題)

重要度

- ① 地域内を流れる河川の洪水対策が必要です。
- ② 上下水道の未整備地区解消のために地域で話し合いをします。
- ③ 放課後に子どもが安心して過ごせる場所の充実が求められます。
- ④ 主要な公共施設等を結ぶバス路線のルート確保と利用の促進が求められます。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 災害に備え自主防災組織の連携体制を構築します。
- ② 安心して子育てできる地域環境を目指します。
- ③ 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全の確保に取り組めます。
- ④ 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ⑤ 快適な生活環境の確保と自然環境の保全ため適正な雑排水処理に取り組めます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

市街地を拡大し、ゆとりある住宅地とにぎわいある空間を形成しよう

- ▶ 1. 大釜駅前付近のにぎわいの創出を検討します。
- ▶ 2. 広域の自主防災組織で連携し災害に対応します。

基本方針 2

豊かな田園都市として、子どもやお年寄りが暮らしやすく、みどりや花のある住環境をつくろう

- ▶ 1. 八幡館山周辺の環境整備を地域協働で実施します。
- ▶ 2. 交通事故の無い地域を目指しスクールガード活動に参加します。
- ▶ 3. 地域内の公園を定期的に清掃します。

基本方針 3

雫石川や地域内の用水・川を地域住民が利用し、水辺と暮らしが豊かな関係を持つ地域にしよう

- ▶ 1. 美しい街並みを保つため、クリーン作戦を展開します。
- ▶ 2. 生活雑排水の適正な処理に取り組みます。
- ▶ 3. 「大釜探検隊」など地域のことを知る機会を設け、地域への愛着を醸成します。

基本方針 4

地域住民の輪を大切に、自立した地域コミュニティを形成していこう

- ▶ 1. 「運動会」や「敬老会」など地域内の交流とにぎわいのある行事を実施します。
- ▶ 2. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域を目指します。
- ▶ 3. ゴミだしルールの周知徹底を図り、適正にゴミステーションを管理します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる

④ どのように具体的に取り組むか

子育て世帯に行事への参加を呼び掛ける

⑤ 活動団体・組織

子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

(子どもが)夢中になって取り組めることがあること

② 象徴指標

子どもが夢中になって取り組むことがあると感じる人の割合

③ 活動モデル

運動会や学習発表会、文化祭には、家族が見に行く

④ どのように具体的に取り組むか

子どもと一緒に今日の出来事についてお話しする

⑤ 活動団体・組織

P.T.A.、小中学校、学童保育クラブ、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

広報紙、回覧板を必ず見る

④ どのように具体的に取り組むか

家族全員で地域の情報を共有する

⑤ 活動団体・組織

家庭、消防団、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること

② 象徴指標

家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合

③ 活動モデル

家庭内で協力して家事や育児に取り組む

④ どのように具体的に取り組むか

家庭内で「ありがとう」の気持ちを伝える

⑤ 活動団体・組織

家庭、PTA、スクールガード、学童クラブ、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

世代を超えて交流する機会があること

② 象徴指標

ここ1年で地域活動に参加した人の割合

③ 活動モデル

運動会や自治会活動など地域活動に参加する

④ どのように具体的に取り組むか

地域のイベントに参加して交流を深める

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、婦人会、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

地域内のご近所づきあいを図る

④ どのように具体的に取り組むか

ご近所と挨拶を交わす

⑤ 活動団体・組織

民生児童委員、消防団、老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	(子どもが)夢中 になって取り組める ことがあること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	安定した生活を 送るための、家 族の支え合いが あること	世代を超えて交 流する機会があ ること	いざという時に も、助け合える 繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相 手がいる親の 割合	子どもが夢中 になって取り組 めることがある と感じる人の 割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	家族の支えの おかげで仕事 に専念できてい ると感じる人の 割合	ここ1年で地域 活動に参加し た人の割合	いざという時 に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子育て世代が気 軽に集まれる機会 を地域でつくる	運動会や学習発 表会、文化祭に は、家族が見に 行く	広報紙、回覧版 を必ず見る	家庭内で協力して 家事や育児に取 り組む	運動会や自治会 活動など地域活 動に参加する	地域内のご近所 づきあいを図る
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	子育て世帯に 行事への参加 を呼び掛ける	子どもと一緒に 今日の出来事 についてお話し する	家族全員で地 域の情報を共 有する	家庭内で「あり がとう」の気持 ちを伝える	地域のイベント に参加して交流 を深める	ご近所と挨拶 を交わす
活動団体 組織	子ども会育成会 自治会 ほか	PTA 小中等学校 学童保育クラブ 自治会 ほか	家庭 消防団 子ども会育成会 自治会 ほか	家庭 PTA スクールガード 学童クラブ 子ども会育成会 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 婦人会 育成会 自治会 ほか	民生児童委員 消防団 老人クラブ 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・大釜地域まちづくり推進委員会設立 (大釜上・大釜南自治会)
2003年 (H15年)	・地域住民が楽しく集える公園づくり事業 ・大釜中央公園にブランコ、滑り台、築山を整備
2004年 (H16年)	・地域内3公園にサクラを植樹
2005年 (H17年)	・「滝沢地域ビジョン」(2005～2014年度)が策定される ・パソコン教室開催
2007年 (H19年)	・八幡館山関連の学習会を開催
2008年 (H20年)	・大釜館、八幡館山遺跡展示会
2009年 (H21年)	・八幡館山整備活用事業 山頂付近の刈払い実施 ・歴史講演会「厨川の戦いと安部一族」開催 ・「八幡館山遺跡」が村指定遺跡となる
2010年 (H22年)	・八幡館山山頂方位盤完成
2011年 (H23年)	・大釜館遺跡歴史看板完成

2012年（H24年）	・第1回大釜探検隊「大釜のお城を見に行こう」
2013年（H25年）	・第2回大釜探検隊「雫石川について学ぼう」 ・第3回大釜探検隊「ミクニ大釜工場」
2014年（H26年）	・第4回大釜探検隊「ミニ溪谷に行ってみよう」 ・第5回大釜探検隊「田んぼの水はどこからきているの？」

大釜地域づくり懇談会

大釜上・大釜南自治会役員、大釜地域まちづくり推進委員会、老人クラブ、子ども会育成会、滝沢南中学校PTA、滝沢市議会議員（順不同）

篠木地域

幸せづくり活動プラン

～健康で明るく住みよい地域づくりを進めよう～



田村神社と杉・桂の古木

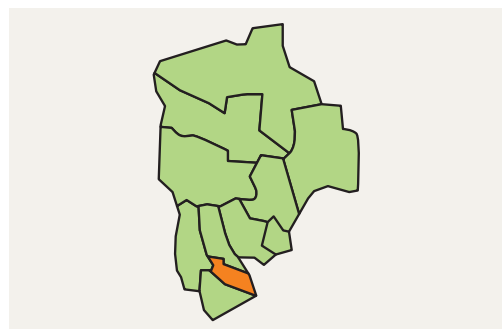
目指す！
地域の姿

伝統的な文化を継承し、豊かな人材を育てる里 篠木

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、長い歴史を持つ神社仏閣や篠木神楽など伝統を重んじる風土と豊かな水資源に育まれた水田地帯として栄え、明治6年に市内初の公立篠木小学校が開校し、多くの人材を世に送り出しています。

地域には、大釜駅、多目的研修センターなどの公共施設が設置され、住民の利便性の向上につながっています。



● 篠木地域づくり懇談会(篠木自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。





清雲院



石川啄木の妻・節子の碑



篠木ウォークラリー



篠木冬まつり



篠木冬まつり(ミズキ団子)



篠木夏まつり



田村神社と杉・桂の古木



敬老会(芋の子会)

2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみんなで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

篠木地域の情報

	篠木地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	1,328	2.4%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	546	2.4%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	125	22.9%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	60	11.0%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	721	2.6%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	76	10.5%	1,399	5.1%		
2次産業	154	21.4%	6,100	22.4%		
3次産業	491	68.1%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	1,328	2.4%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	69	5.2%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	144	10.8%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	239	18.0%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	278	20.9%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	270	20.3%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	328	24.7%	13,332		24.4%

篠木地区公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※篠木小学校	篠木中屋敷60	687-2064	JR大釜駅	篠木明法22-16	699-1171
※多目的研修センター	篠木鳥谷平52	684-2632	盛岡西警察署 大釜駐在所	大釜八幡前117-2	687-2843
滝沢市消防団第二分団屯所	篠木黒畑135-1		大釜駅前コミュニ ティセンター	篠木明法22-16	699-1171

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政が連携し取り組む課題)

重要度

- ① 大釜駅前のにぎわいの創出を図る必要があります。
- ② 篠木跨線橋の改修(歩道ロードヒーティングを含む)が必要です。
- ③ 大釜駅からの歩行者優先通学路の確保が必要です。
- ④ 防災関係の環境整備が必要です。
- ⑤ 安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 通学路の安全の確保に努めます。
- ② 自主防災組織と高齢者・要支援者の見守り活動の推進に努めます。
- ③ 大釜駅前のにぎわいづくり事業の展開を検討します。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

田村神社などの名所を守り、篠木の伝統を継承し、地域内の交流や文化活動の活性化を図ろう

- ▶ 1. 子どもが、カワシンジュガイやホタルなど自然に親しめる環境保全に取り組みます。
- ▶ 2. 景観よく住みよい篠木地域づくりにつながるルール作りを検討します。
- ▶ 3. 篠木坂周辺を「歴史の坂」として旧道の活用と併せ地域で学ぶ機会を設けます。
- ▶ 4. 篠木神楽の保存伝承のため、保存会、自治会や学校も含めた支援体制を検討します。
- ▶ 5. 「篠木念仏剣舞」復活の検討を進めます。
- ▶ 6. 越前堰を、土地改良区とアドプト協定に基づき地域全体で守り、草刈りや植栽の管理などの活動に取り組みます。

基本方針 2

地域交流の場として、大釜駅や篠木小学校を中心に活用を図り、にぎわいのあるコミュニティをつくろう

- ▶ 1. 大釜駅前のにぎわいづくりを目的に、青空市の開催を検討します。
- ▶ 2. 新規転入者への訪問などを行い、自治会が中心となりコミュニティ醸成を図ります。
- ▶ 3. 子ども会の資源回収活動に協力します。
- ▶ 4. 地域協働で見守り体制を確立し、安心安全な篠木地域をつくります。
- ▶ 5. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。
- ▶ 6. 四季折々の行事を通じ、活発な交流で「絆」を深めます。

基本方針 3

通学路を中心に道路環境を整備し、子どもやお年寄りが安全に過ごせる地域にしよう

- ▶ 1. スクールガードをはじめ、地域で安心安全に取り組めます。
- ▶ 2. 安心安全な地域をめざし1世帯1灯運動の展開を図ります。
- ▶ 3. 子どもやお年寄りを含めた歩行者の安全確保のため、通学路などの草刈り、ゴミ拾いを地域協働で取り組みます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

- i (子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
- ii (子どもに)良い食習慣が身についていること

② 象徴指標

- i 子どもと一緒に過ごす時間(1週間)
- ii 家族一緒に食事をする回数(1週間)

③ 活動モデル

- i 親などが、子どもに読み聞かせをする
- ii 家族一緒に笑顔で食事をする

④ どのように具体的に取り組むか

- i 多目的研修センターの図書室の充実と活用
- ii 食事のときテレビの音量を小さくしてみる

⑤ 活動団体・組織

- 子ども会育成会、食生活改善推進委員、自治会ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

(子どもが)楽しい学校生活を過ごせること

② 象徴指標

(子どもの)仲の良い友だちの数

③ 活動モデル

その日の出来事を家族で話す

④ どのように具体的に取り組むか

食事のときテレビの音量を小さくしてみる

⑤ 活動団体・組織

子ども会育成会、PTA、自治会ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える

④ どのように具体的に取り組むか

笑顔であいさつを交わす

⑤ 活動団体・組織

自治会、まちづくり推進委員会ほか



▶ 子育て世代(35～49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

家族で会話をしたり、近所の子どもと顔見知りになる

④ どのように具体的に取り組むか

子どもと話すときは、しゃがんで視線を合わせる

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、PTA、自治会 ほか



▶ 充実世代(50～64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること

② 象徴指標

趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合

③ 活動モデル

自分の趣味や特技を一緒にできる仲間を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

地域のイベントに参加し交流を深める

⑤ 活動団体・組織

夏祭り実行委員会、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳～)

① 幸福感を育む象徴的要素

心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること

② 象徴指標

地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合

③ 活動モデル

自治会活動など地域活動に積極的に参加する

④ どのように具体的に取り組むか

健康ウォークラリー、老人クラブ・ゆいっこ会・いきいきサロンなどの活動に参加する

⑤ 活動団体・組織

保健推進員、老人クラブ、ゆいっこ会、いきいきサロン、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	①(子どもに) みんなが笑顔で接してくれること ②(子どもに) 良い食習慣が身についていること	(子どもが) 楽しい学校生活をすごしていること	地域の皆さんと交流の機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること	心身ともに元気になる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること
Point						
象徴指標	①子どもと一緒に過ごす時間(1週間) ②家族一緒に食事をする回数(1週間)	仲の良い友だちの数	地域のお祭りや行事に参加した回数	参加したいと思える地域行事の数	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合	地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合
活動 モデル	①親などが、子どもに読み聞かせをする ②家族一緒に笑顔で食事をする	その日の出来事を家族で話す	地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える	家族で会話をする。近所の子どもと顔見知りになる	自分の趣味や特技と一緒に出来る仲間を持つ	自治会活動など地域活動に積極的に参加する
Point						
どのように 具体的に 取り組むか	①多目的研修センターの図書室の活用 ②食事のときテレビの音量を小さくしてみる	食事のときテレビの音量を小さくしてみる	笑顔であいさつを交わす。	子どもと話すときはしゃがんで目線を合わせる	地域のイベントに参加し交流を深める	健康ウォークラリー、老人クラブ・ゆいっこの会・いきいきサロン等の活動に参加する
活動団体 組織	子ども会育成会 食生活改善推進委員会 自治会 ほか	子ども会育成会 PTA 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 PTA 自治会 ほか	夏祭り実行委員会 自治会 ほか	自治会 保健推進員 老人クラブ ゆいっこの会 いきいきサロン ほか

5

私たちのあゆみ
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2005年 (H17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョンの学習・雪灯り事業 (田村神社) ・あいさつ運動とあいさつ通り設置 (スマイルハート)
2006年 (H18年)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動標語募集 (篠木小学校) ・越前堰用水路看板取付・雪灯り事業 (大釜駅前)
2007年 (H19年)	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰土地改良区とアドプト協定締結 ・村民体育祭綱引き競技小学生の部で優勝 ・資源ごみ「ストックヤード」設置
2008年 (H20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・村民体育祭綱引き競技小学生の部で連覇 ・健康づくり講座実施 (H22まで継続)
2009年 (H21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・啄木の妻・節子の歌碑建立 (篠木小学校内) ・篠木小学校を会場に防災訓練実施 (170名参加) ・自治会女性部発足
2010年 (H22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・村内一斉「街頭交通安全のぼり旗作戦」実施 ・東日本大震災義援金募金実施 ・自治会として多目的研修センター周辺草刈業務受託 ・岩手看護短期大学と共催で篠木ウォークラリー開催
2011年 (H23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきサロン」に統合し毎月2回開催 ・村民体育祭綱引き競技中学生の部で優勝
2012年 (H24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・古着による被災地支援 (約1トンの善意集まる) ・わんぱく広場及びその周辺の防犯活動実施
2013年 (H25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・滝沢市立篠木小学校区テクテクマップ作成・配布 ・地域健康づくり連絡会の開催

2014年（H26年）	・自治会創立45周年式典、記念誌発行
-------------	--------------------

小岩井

大釜

篠木

大沢

鵜飼

姥屋敷

元村

室小路

東部

柳沢

一本木

篠木地域づくり懇談会

篠木自治会役員、しのぎ夢まちづくり推進委員会、老人クラブ、衛生指導員、保健推進員、食生活改善推進委員、衛生指導員、見守りボランティアグループ、篠木小学校PTA、民生児童委員、消防団、JA女性部、篠木神楽保存会、夏祭り実行委員会、地域住民（順不同）



大沢地域

幸せづくり活動プラン

～笑顔ひろがるせせらぎの里～



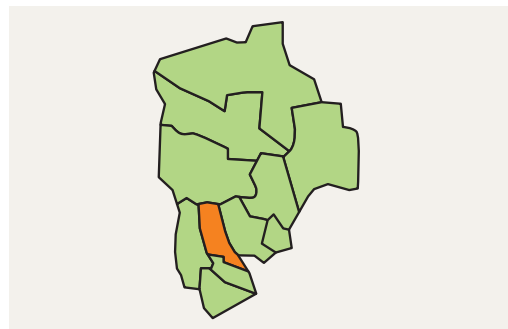
目指す!
地域の姿

豊かな田園風景や地域の持つ自然、歴史を大切にし、
多様な人々が真心でふれあうやすらぎのある郷づくり

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、田園風景や恵まれた自然、大沢田植え踊り、大沢さんさ踊りなど伝統文化のほか、手打ちそばや雑穀料理などの豊かな食文化等、馬と人が共生する南部曲り家など様々な地域資源があり、歴史的な財産や文化を大切にする風土があります。

また、高齢者との交流会や防災点検・環境美化活動等のコミュニティ活動が盛んであり、定住しやすいような活気のある地域づくりが展開されています。



● 大沢地域づくり懇談会(大沢自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



岩手山と田園風景



南部曲り家とチャグチャグ馬コ



大沢田植え踊り



大沢保育園



おおさわ祭り



大沢さんさ踊り

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

大沢地域の情報

	大沢地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	596	1.1%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	224	1.0%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	63	28.1%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	38	17.0%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	346	1.3%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	72	20.8%	1,399	5.1%		
2次産業	80	23.1%	6,100	22.4%		
3次産業	194	56.1%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	596	1.1%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	23	3.9%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	64	10.7%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	76	12.8%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	113	19.0%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	129	21.6%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	191	32.0%	13,332		24.4%

大沢地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
大沢保育園	大沢堰合32-2	687-2509	※滝沢南中学校	鶴飼滝向11-1	687-2021
※篠木小学校	篠木中屋敷60	687-2064	※大沢集落センター	大沢堰合20-3	687-4306
JA新しいわて マテリアルセンター	大沢鶴子126	687-3011	NPO法人馬と曲 り家のおおさわ村	大沢籠屋敷24	684-3211

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政が連携し取り組む課題)

重要度

- ① 通過交通の増加により歩行者の安全確保が課題です。
- ② 集会施設が狭く大勢の住民が集まることが出来ません。
- ③ 市街地や主要公共施設への交通手段の検討が必要です。
- ④ 地域内に放課後の子どもの居場所の運営を検討します。
- ⑤ 大沢保育園周辺の交通安全の確保のため市道中道堰合線の拡幅改良が必要です。
- ⑥ 観光客のアクセス向上を図るため市道堰合籠屋敷線の拡幅改良が必要です。
- ⑦ 上下水道の未整備地区解消のために地域で話し合いをします。
- ⑧ 遊休農地の発生防止と解消へ向けた対策が求められています。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 世代間交流を活性化し伝統文化の継承に取り組む必要があります。
- ② 持続可能な地域づくりのため6次産業化への取り組みが必要です。
- ③ 高齢化社会に対応した地域での見守り体制の確立が求められます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

やすらげる住環境を大切にし、子どもや高齢者でも安心して歩ける地域にしよう

- ▶ 1. 地域で大沢親子広場の清掃活動を行います。
- ▶ 2. 自主防災機能を高め、消火栓や防犯灯を点検します。
- ▶ 3. ゴミだしルール周知徹底を図り、互いに声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。
- ▶ 4. 「まごころ給食」の実施など地域協働で見守り体制を確立し、安全安心な地域をつくれます。

基本方針 2

住民どうしが交流しながら、若年層が定住しやすい元気な地域コミュニティをつくろう

- ▶ 1. 「おおさわ祭り」などの地域ににぎわいと交流が生まれる行事を企画します。
- ▶ 2. 「百寿会」や「大沢保育園」の活動を支援し、幼児から高齢者までみんなが元気な地域を目指します。
- ▶ 3. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。

基本方針 3

地域の歴史的な財産、伝統芸能やふるさとの小川や山を大切に次世代に伝えよう

- ▶ 1. 「南部曲り家」の保全活動を推進します。
- ▶ 2. 田園風景に配慮したまち並みを目指し景観形成住民協定を検討します。
- ▶ 3. 伝統芸能の保存伝承のため、保存会、自治会や学校も含めた支援体制を検討します。
- ▶ 4. ホタルが舞う環境を大切にします。

基本方針 4

地域外の人でも楽しく過ごせる場をつくり、にぎわいある地域にしよう

- ▶ 1. 南部曲り家を中心ににぎわいのある行事を通年で企画します。
- ▶ 2. 観光客が心地よく過ごせるよう環境整備を進めます。
- ▶ 3. 農業を活用した交流事業を企画実施します。
- ▶ 4. 地域産品を活用した特産品づくりに取り組みます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

- ・親などが、子どもと一緒に、近所の人との挨拶を大切にする
- ・大人が、子どもが気軽に行き来できるような近所づきあいを心掛ける

④ どのように具体的に取り組むか

地域の方々に元気にあいさつをする

⑤ 活動団体・組織

保育園、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんに(子どもが)見守られていること

② 象徴指標

子どもが安全に通学できていると感じる人の割合

③ 活動モデル

(子どもが)地域のお祭りや行事へ参加する

④ どのように具体的に取り組むか

子ども会の活動を地域で支援する

⑤ 活動団体・組織

子ども会育成会、PTA、スクールガード、NPO、まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域のお祭りやサークルなどに参加する

④ どのように具体的に取り組むか

「おおさわ祭り」に参加する

⑤ 活動団体・組織

保育園、PTA、NPO、まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること

② 象徴指標

家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合

③ 活動モデル

育児について、相談・助言してくれる相手を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

地域の活動や保育園・小学校の運動会に、積極的に参加する

⑤ 活動団体・組織

保育園、PTA、まちづくり推進委員会、婦人会、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

老後の生活設計が描けること

② 象徴指標

老後の生活設計に不安がない人の割合

③ 活動モデル

積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする

④ どのように具体的に取り組むか

地域活動に積極的に参加する

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、NPO、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

- i 地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること
- ii 豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること

② 象徴指標

- i 地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合
- ii 自分の散歩コースを持っている人の割合

③ 活動モデル

- i 地域の伝統・文化を鑑賞する機会を持つ
- ii 日々、家の回りの美化、清掃に取り組む

④ どのように具体的に取り組むか

- i 地域行事や地域活動に積極的に参加する
- ii 家庭菜園に取り組む

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、NPO、老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	地域の皆さんに (子どもが)見 守られていること	地域の皆さんと交 流の機会がある	安定した生活を 送るための、家 族の支え合いが ある	老後の生活設計 が描ける	①地域の伝統・ 文化や芸能など、 次世代に継承で きる機会がある ②豊かな自然と ふれあいながら、 健康増進が図ら れる機会がある
Point						
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相手 がいる親の割 合	安全に通学で きていると感じ る人の割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	家族の支えの おかげで仕事 に専念できてい ると感じる人の 割合	老後の生活設 計に不安がな い人の割合	①地域の伝統・文 化や芸能などに親 しむ機会があると感 じている人の割合 ②自分の散歩コース を持っている人の割合
活動 モデル	①親などが、子ど もと一緒に、近所 の人との挨拶を 大切にする ②大人が、子ども が気軽に行き来 できるような近所 づきあいを心掛け る	(子どもが)地域 のお祭りや行事へ 参加する	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	育児について、相 談・助言してくれる 相手を持つ	積極的に近所 の方々の顔を覚え、 挨拶をする	①地域の伝統・文 化を鑑賞する機会 を持つ ②日々、家の回り の美化、清掃に取 り組む
Point						
どのように 具体的に 取り組むか	地域の方々に 元気にあいさつ をする	子ども会の活 動を地域で支 援する	「おおさわ祭り」 に参加する	地域の活動や 保育園・小学 校の運動会に、 積極的に参加 する	地域活動に積 極的に参加する	①地域行事や 地域活動に積 極的に参加する ②家庭菜園に 取り組む
活動団体 組織	保育園 子ども会育成会 自治会 ほか	子ども会育成会 PTA スクールガード NPO まちづくり推進委員会 自治会 ほか	保育園 PTA NPO まちづくり推進委員会 自治会 ほか	保育園 PTA まちづくり推進委員会 婦人会 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 NPO 自治会 ほか	まちづくり推進 NPO 老人クラブ 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・大沢地域まちづくり推進委員会設立 (環境、福祉、交通の3部会の推進体制)
2003年 (H15年)	・ごみ分別推進事業 (ごみ出しモラルの向上を図るため、地域各戸に独自ごみ袋を配布。集積所でごみ分別の管理を行う。)
2004年 (H16年)	・地域住民が助け合う心安らぐ里づくり事業 (要支援、高齢者等の支援を行うボランティアの育成を図る)
2005年 (H17年)	・せせらぎ水路整備事業 (子どもたちが水辺に親しめる場所、水棲生物が繁殖できる場所を整備)
2007年 (H19年)	・せせらぎ水路整備事業 (越前堰上流に蛍を呼び、新住民とのふれあいを促進するための水路整備工事)
2008年 (H20年)	・せせらぎ水路整備事業 (水路周辺へ植栽、看板設置) ・せせらぎ水路についてアドプト協定締結 (滝沢村、越前堰土地改良区、大沢地域まちづくり推進委員会) ・草の根コミュニティ大学開校 (地域の活性化や将来像について話し合いを実施)
2009年 (H21年)	・地域の宝活用研究事業 (地域の宝物を観光活用することについての研修会実施)
2010年 (H22年)	・地域の宝活用研究事業 (大沢まるごと体験ツアーの実施)
2011年 (H23年)	・地域の宝活用研究事業 (馬耕や代掻きの再現、田植え等の農作業体験実施、収穫した米を被災地へ届ける)

2012年（H24年）	<ul style="list-style-type: none"> ・ N P O馬と曲り家のおおさわ村設立（地域資源、伝統文化の振興及び保存伝承事業を通じて地域社会の発展に寄与する目的で設立）
2013年（H25年）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部曲り家「藤倉邸」の茅葺屋根の葺き替え作業着手 ・ 第1回おおさわ祭り開催
2014年（H26年）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大沢屋号マップ作成事業（歴史、文化を次世代に伝え、住民間・世代間のコミュニケーションを深めることを目的） ・ 景観からの地域づくり（景観点検）事業（南部曲り家を後世に残すため茅葺技術後継者育成講座を開催。パンフレット「せせらぎの里 大沢」作成、地域の美しい景観を紹介）

大沢地域づくり懇談会

大沢自治会役員、大沢地域まちづくり推進委員会、老人クラブ、子ども会育成会、滝沢南中学校PTA、消防第3分団、婦人会、市議会議員、農業委員、民生児童委員、岩手山麓土地改良区理事、大沢農業振興推進組合、大沢農家組合（順不同）

鶺鴒地域

幸せづくり活動プラン

～安全安心な地域を目指して～



目指す!
地域の姿

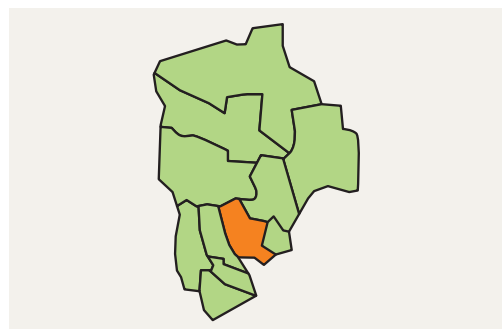
チャグチャグ馬コ発祥の地として栄える、
住みよく、活気にあふれるまち

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、岩手山の眺望や田園風景が素晴らしく、市役所や公民館、総合公園などの公共施設や総合病院があり、住環境が整備された市の中心地域です。

毎年6月の第2土曜日に開催されるチャグチャグ馬コには、県内外から大勢の観光客が地域を訪れ大変賑わいます。

今後、市の交流拠点複合施設が整備され地域づくりの中心地として発展が期待されます。



- 鶺鴒地域づくり懇談会(鶺鴒南自治会、鶺鴒中央自治会、滝沢パークタウン自治会、上の山自治会、上鶺鴒自治会、鶺鴒温泉自治会、滝沢ニュータウン自治会)
- 【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・
景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物
があります。



チャグチャグ馬コ



鵜飼小学校吹奏楽



ビッグルーフ滝沢



滝沢南中学校新体操



蒼前神社



諸葛川の桜並木



地域の子供達と
スクールガード



親子サロン

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

鵜飼地域の情報

	鵜飼地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	9,928	18.0%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	4,143	18.5%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	1,120	27.0%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	530	12.8%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	4,577	16.8%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	181	4.0%	1,399	5.1%		
2次産業	1,006	22.0%	6,100	22.4%		
3次産業	3,390	74.1%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	9,928	18.2%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	503	5.1%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	1,268	12.8%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	1,442	14.5%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	2,105	21.2%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	1,717	17.3%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	2,893	29.1%	13,332		24.4%

鵜飼地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
滝沢市役所	中鵜飼55	684-2111	※鵜飼小学校	鵜飼洞畑87-1	687-2004
※ビッグライフ滝沢	下鵜飼1-15	656-7811	※滝沢南中学校	鵜飼滝向11-1	687-2021
滝沢市 社会福祉協議会	中鵜飼47-1	684-1110	鵜飼保育園	鵜飼笹森1-2	687-1375
滝沢中央交番	鵜飼狐洞1-403	684-2766	認定こども園 ふじなでしこども園	鵜飼狐洞1-102	684-3404
滝沢市ファミリー サポートセンター	鵜飼笹森5-25	684-6158	※総合公園体育館	鵜飼御庭田1-1	687-3311

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 盛岡環状線の交通量増加に伴い渋滞や事故が多発しています。
- ② 交流拠点複合施設へのアクセス道路の整備が必要です。
- ③ 地域内に空き家が目立つようになり防犯・景観面の対策が必要です。
- ④ チャグチャグ馬コがもたらす地元への経済効果の評価が必要です。
- ⑤ 下水道未整備地域の解消が求められます。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全確保に取り組めます。
- ② 安心して子育てできる地域を目指します。
- ③ 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ④ チャグチャグ馬コに代表される地域の伝統文化の継承に取り組めます。
- ⑤ 快適な生活環境の確保と自然環境の保全のため適正な雑排水処理に取り組めます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

滝沢市の中心として、快適で安全安心なまち並みの整備を目指します

- ▶ 1. 交通安全のため危険箇所の情報共有を図ります。
- ▶ 2. 生活雑排水の適正処理に取り組みます。
- ▶ 3. 景観に配慮し、自然を大切にしたい街並みの形成に取り組みます。
- ▶ 4. 地域内の協働で除雪対策に取り組みます。

基本方針 2

チャグチャグ馬コ発祥の地としての知名度を高め、来訪者も楽しめる地域を目指そう

- ▶ 1. チャグチャグ馬コにあわせ蒼前神社周辺の環境美化活動を行います。
- ▶ 2. 行進路のアヤメ園の管理を行い来訪者も楽しめる環境をつくります。
- ▶ 3. チャグチャグ馬コ関連イベントを企画・実施し来訪者をもてなします。
- ▶ 4. 地域の伝統文化の継承とピーアールを行い交流人口の増加を図ります。
- ▶ 5. 「神社・史跡マップ」を活用し、地域の歴史文化を学びます。

基本方針 3

岩手山への山並みをのぞむ豊かな風景、諸葛川の水辺空間を活かした、うるおいある地域をつくろう

- ▶ 1. 諸葛川沿いの桜並木の管理を地域で行います。
- ▶ 2. 河川の水質保全のため適正な生活雑排水処理に取り組みます。
- ▶ 3. 地域の公園の美化活動に取り組みます。

基本方針 4

地域の憩いの場を確保し、子どもや高齢者が暮らしやすい安全安心な地域にしていこう

- ▶ 1. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。
- ▶ 2. 交通事故防止のため児童生徒に反射テープを配布します。
- ▶ 3. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安全安心な地域をつくります。
- ▶ 4. 地域の安全安心のため空き家の情報を共有します。
- ▶ 5. AEDの設置場所の情報を共有し活用します。
- ▶ 6. ゴミだしルールの周知徹底を図り、互いに声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」や「子育て支援センター」を利用する

④ どのように具体的に取り組むか

地域でファミリーサポートセンターの運営に参画する

⑤ 活動団体・組織

自治会、民生児童委員、
社会福祉協議会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんに(子どもが)見守られていること

② 象徴指標

子どもが安全に通学できると感じる人の割合

③ 活動モデル

夜間でも目立つ服装で通学する

④ どのように具体的に取り組むか

地域で児童・生徒に反射材を配る

⑤ 活動団体・組織

自治会、滝沢中央交番、
子ども会育成会、PTA ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える

④ どのように具体的に取り組むか

笑顔であいさつを交わし、自己紹介をする

⑤ 活動団体・組織

自治会、PTA ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

子育てについて相談、助言してくれる相手を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

ファミリーサポートセンターに行ってみる

⑤ 活動団体・組織

自治会、民生児童委員、社会福祉協議会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

世代を超えて交流する機会があること

② 象徴指標

ここ1年で地域活動に参加した人の割合

③ 活動モデル

自治会活動など地域活動に参加する

④ どのように具体的に取り組むか

情報の共有化を図り地域内の連携を深める

⑤ 活動団体・組織

自治会、民生児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

地域が、ひとり暮らしの世帯を把握している

④ どのように具体的に取り組むか

見守り活動やスクールガードに参加する

⑤ 活動団体・組織

自治会、民生児童委員、消防団、中央交番、老人クラブ、社会福祉協議会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	地域の人たちに (子どもが)見 守られていること	地域の皆さんと 交流の機会があ るころ	子どもたちが地域 で遊んだり、学 んだりする機会に 恵まれていること	世代を超えて交 流する機会があ ること	いざという時に も、助け合える 繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相 手がいる親の 割合	子どもが安全に 通学できると感 じる人の割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	参加したいと思 える地域行事 の数	ここ一年で地 域活動に参加 した人の割合	いざという時 に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子育てを支援す る「ファミリーサ ポートセンター」や 「子育て支援セン ター」を利用する	夜間でも目立つ服 装で通学する	地域の方に挨拶 をし、地域の方 の名前と顔を覚 える	子育てについて 相談、助言してく れる相手を持つ	自治会活動など 地域活動に参加 する	地域が、ひとり暮 らしの世帯を把 握している
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	地域でファミ リサポートセ ンターの運営 に参画する	地域で反射材 を配る	笑顔であいさつ を交わし、自己 紹介をする	ファミリーサ ポートセンター に行ってみる	情報の共有化 を図り地域内の 連携を深める	見守り活動やス クールガードに 参加する
活動団体 組織	自治会 民生児童委員 社会福祉協議会 ほか	自治会 滝沢中央交番 子ども会育成会 PTA ほか	自治会 PTA ほか	自治会 民生児童委員 社会福祉協議会 ほか	自治会 民生児童委員 老人クラブ 社会福祉協議会 ほか	自治会 民生児童委員 消防団 中央交番 老人クラブ 社会福祉協議会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・鵜飼地域まちづくり推進委員会設立 (鵜飼地域4自治会)
2003年 (H15年)	・諸葛川美化事業 (諸葛川河川沿いの桜並木管理等) ・チャグチャグ馬コ広場事業 (蒼前神社前に東屋の設置)
2004年 (H16年)	・諸葛川美化事業 (諸葛川河川沿いの桜並木管理等) ・チャグチャグ馬コ広場事業 (蒼前神社前に東屋の設置)
2005年 (H17年)	・「滝沢地域ビジョン」(2005～2014年度) が策定される ・チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業 (景観の維持及び保全のための調査) ・諸葛川美化事業 (諸葛川河川沿いの桜並木管理等)
2006年 (H18年)	・伝統継承事業 (神社・史跡マップの作成) ・チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業 (アヤメ植栽)
2007年 (H19年)	・チャグチャグ馬コ行進路等景観形成推進事業 (アヤメ株分け)
2008年 (H20年)	・旧鬼越神社跡地整備活用事業 (案内看板設置)
2009年 (H21年)	・歴史講演会「鵜飼の歴史を学ぼう」開催
2010年 (H22年)	・チャグチャグ馬コ・史跡等PR事業 (馬コ開催日に餅つき体験でおもてなし事業を実施、史跡石版作成～H23)

2011年（H23年）	<ul style="list-style-type: none"> ・チャグチャグ馬コまつりで「餅つき」で被災者支援 ・石碑除幕式、史跡めぐり及び懇親会の開催
2012年（H24年）	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域ビジョン」の振返りを実施
2013年（H25年）	<ul style="list-style-type: none"> ・鶺鴒西自治会が4自治会に分離、7自治会で地域まちづくり推進委員会を運営
2016年（H28年）	<ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」オープン



鶺鴒地域づくり懇談会

鶺鴒南、鶺鴒中央、滝沢パークタウン、上の山、上鶺鴒、鶺鴒温泉、滝沢ニュータウン各自治会役員、鶺鴒地域まちづくり推進委員会、民生児童委員、消防団第4分団、老人クラブ、社会福祉協議会、滝沢中央交番（順不同）

姥屋敷地域

幸せづくり活動プラン

～みんなの笑顔の真ん中で子どもたちが笑う地域～



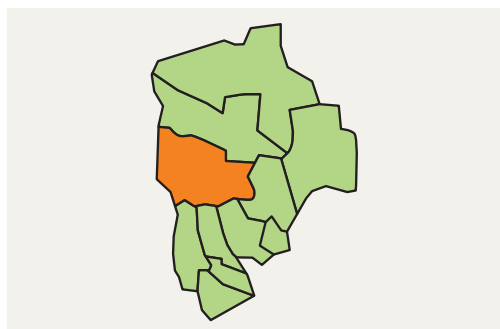
目指す!
地域の姿

健康をつくる白い牛乳、緑の野菜、
住むならばお山のふところ 姥屋敷

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、岩手山の麓に位置し、戦後に開拓入植され、酪農、高冷地野菜生産などの農業専用地域です。雄大な自然を背景に、鞍掛山、相の沢牧野、お山の湯などの地域資源もあり、来訪者も多い地域となっています。

人口の少ない地域ですが、子どもから高齢者まで「絆」を大切にしたい地域づくりを進めています。



● 姥屋敷地域づくり懇談会(姥屋敷自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

姥屋敷地域の情報

	姥屋敷地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	318	0.6%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	123	0.5%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	40	32.5%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	26	21.1%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	181	0.7%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	100	55.2%	1,399	5.1%		
2次産業	14	7.7%	6,100	22.4%		
3次産業	67	37.0%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	318	0.6%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	17	5.3%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	28	8.8%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	41	12.9%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	54	17.0%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	63	19.8%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	115	36.2%	13,332		24.4%

姥屋敷地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※姥屋敷小中学校	鵜飼安達117-19	680-2401	たきざわ自然情報センター	鵜飼安達114-7	691-6555
姥屋敷保育所	鵜飼安達140	680-2622	相の沢牧野看視舎	鵜飼姥屋敷108	680-2411
花平酪農農業協同組合	鵜飼安達138-13	680-2211			

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 市街地とのアクセス向上のため市道洞畑鬼越線の舗装整備が必要です。
- ② 地域づくりの中心として姥屋敷小中学校や姥屋敷保育所の存続が必要です。
- ③ 高齢化社会に対応した公共交通網の整備が望まれます。
- ④ 地域内に就労の場の創出が求められます。
- ⑤ 優れた自然景観を活用した観光振興方策が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 姥屋敷小中学校や姥屋敷保育所を中心としたコミュニティづくりが大切です。
- ② 地域内で安心して子育てできる環境を目指します。
- ③ 優れた自然景観を保全するため不法投棄防止対策が必要です。
- ④ 地域産品を広域での観光振興に取り組みます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

農業専業地域の特性を活かしながら地域の魅力を高め、若年層の定住を図ろう

- ▶ 1. 地域の農産加工品の地産地消に取り組みます。
- ▶ 2. 酪農業体験イベントを企画し地域ピーアールに取り組みます。
- ▶ 3. 地域内の協働で安心して子育てができる環境をつくります。
- ▶ 4. 地域で保育園、小中学校の運営に協力します。
- ▶ 5. 栄光賞で子供たちの健闘を称えます。

基本方針 2

岩手山麓の雄大な自然、優れた農業景観を活かし、観光客が気軽にゆったり過ごせる地域にしよう

- ▶ 1. 貴重な植生群落の保全に取り組みます。
- ▶ 2. 手作り看板など牧歌的な雰囲気づくりを大切にします。
- ▶ 3. 地域産品を活かした交流人口の増加を図ります。
- ▶ 4. 継続して水仙ロードに取り組みます。
- ▶ 5. 地域の集いの場として「まつり広場」の整備を進めます。

基本方針 3

通学、防災、観光面の交通アクセスと安全性が確保された地域を目指そう

- ▶ 1. 市道洞畑鬼越線の管理と拡幅事業に取り組みます。
- ▶ 2. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。
- ▶ 3. 交通安全の危険区域を地域で共有し交通安全意識の向上を図ります。
- ▶ 4. 自主防災組織を中心に地域の安全安心に取り組みます。

基本方針 4

地域の景観や生活環境を、次世代へ健全な状態で伝えていこう

- ▶ 1. 景観に配慮した地域を目指し景観形成住民協定を検討します。
- ▶ 2. 地域として不法投棄を絶対に許さないという意思を示します。
- ▶ 3. ゴミだしルールの周知徹底を図り、互に声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。
- ▶ 4. 地域の歴史を後世に伝える活動に取り組みます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
(子どもに)良い食習慣が身に付いていること
- ② 象徴指標
家族一緒に食事をする回数(1週間)
- ③ 活動モデル
家族一緒に笑顔で食事をする

- ④ どのように具体的に取り組むか
今日のこと、明日のことを会話しながら食事をする
- ⑤ 活動団体・組織
各家庭 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
- ② 象徴指標
子どもが安全に通学できると感じる人の割合
- ③ 活動モデル
地域の方々が資源回収などの子どもたちの活動に協力する

- ④ どのように具体的に取り組むか
学校・地域が一体となった行事(運動会、夏祭り、文化祭、卒業生をおくる会、資源回収)等に参加する
- ⑤ 活動団体・組織
小中学校、PTA、老人クラブ、青年会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ② 象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③ 活動モデル
地域のお祭りやサークルなどに参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
地区全体の行事(運動会、夏祭り、草刈清掃活動)に参加する
- ⑤ 活動団体・組織
各地区公民館、自治会ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
子どもたちの成長を確認できること
- ② 象徴指標
子どもとの会話の時間(1週間)
- ③ 活動モデル
小中学校の行事に積極的に参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
運動会、文化祭、卒業生を送る会等の学校行事に参加する。
- ⑤ 活動団体・組織
PTA、子ども会育成会、
地区スポーツ少年団、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
世代を越えて交流する機会があること
- ② 象徴指標
ここ1年で地域活動に参加した人の割合
- ③ 活動モデル
自治会活動など地域活動に参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
地区の運動会、夏祭りに家族みんなで参加する。
- ⑤ 活動団体・組織
自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
いざという時にも、助け合える繋がりがあること
- ② 象徴指標
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③ 活動モデル
地域の自主防災組織が行う防災訓練に参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
防災訓練に参加する。要援護者の把握に努める。
- ⑤ 活動団体・組織
自主防災組織、消防団、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	(子どもに) 良い 食習慣が身に付 いていること	地域の皆さんに (子どもが) 見 守られていること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちの成長 を確認できること	世代を越えて交 流する機会があ ること	いざという時に も、助け合える 繋がりがあること
Point						
象徴指標	家族一緒に食 事を <u>する回数</u> (1週間)	<u>子どもが安全に</u> <u>通学できると感</u> <u>じる人の割合</u>	<u>地域のお祭り</u> <u>や行事に参加</u> <u>した回数</u>	<u>子どもとの会話</u> <u>の時間(1週間)</u>	<u>ここ1年で地域</u> <u>活動に参加し</u> <u>た人の割合</u>	<u>いざという時</u> <u>に、頼れる相</u> <u>手がいる人の</u> <u>割合</u>
活動 モデル	家族一緒に笑顔 で食事をする	地域の方々が資 源回収などの子 どもたちの活動に協 力する	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	小中学校の行事 に積極的に参加 する	自治会活動など 地域活動に参加 する	地域の自主防災 組織が行う防災 訓練に参加する
Point						
どのように 具体的に 取り組むか	今日のこと、明 日のことなどを 会話しなが ら食事をする。	<u>学校・地域が一</u> <u>体となった行事</u> (<u>運動会、夏</u> <u>祭り、文化祭、</u> <u>卒業生をおくる</u> <u>会、資源回収</u>) 等に参加する。	地区全体の行 事(運動会、夏 祭り、草刈清 掃活動)に参 加する。	運動会、文化 祭、卒業生を 送る会等の学 校行事に参加 する。	地区の運動会、 夏祭りに家族み んなで参加す る。	防災訓練に参 加する。要援 護者の把握に 努める。
活動団体 組織	各家庭 ほか	小中学校 PTA 老人クラブ 青年会 自治会 ほか	各地区公民館 自治会 ほか	PTA 子ども会育成会 地区スポーツ少年団 自治会 ほか	自治会 ほか	自主防災組織 消防団 自治会 ほか

5

私たちのあゆみ
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・ 姥屋敷いきいき21推進委員会を設置
2003年 (H15年)	・ 姥屋敷マイロード事業 (滝沢浄水場から姥屋敷に抜ける道路、延長約1.5キロの拡幅工事、碎石舗装、側溝設置を～H18で延べ465人が参加し行われた。測量、立木の伐採、地権者交渉も委員会で実施)
2004年 (H16年)	・ 姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業 (地域内で山ぶどう栽培)
2006年 (H18年)	・ 姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業・収穫編 (栽培した山ぶどうをジュースにするための機器導入)
2007年 (H19年)	・ 姥屋敷を山ぶどうの里にするぞ事業・加工編 (特産品化向けスチーマーと王冠打栓機導入)
2008年 (H20年)	・ 防火用水整備事業 (自主防災体制強化のため防火用水を整備)
2011年 (H23年)	・ (財)自治総合センターが宝くじ普及広報事業として行っている「コミュニティ助成事業 (一般コミュニティ助成事業)」を導入しまつり広場に野外ステージテントを整備
2013年 (H25年)	・ お祭り広場整備事業 (まつり広場に休憩所を整備)
2014年 (H26年)	・ お祭り広場整備事業 (まつり広場舞台を整備し、小中学生と姥屋敷の一本桜を描く)

2016年（H28年）	・相の沢温泉「お山の湯」閉館
-------------	----------------

姥屋敷地域づくり懇談会

姥屋敷自治会役員、姥屋敷いきいき21まちづくり推進委員会、消防団第10分団、姥屋敷小中学校PTA、老人クラブ、子ども会育成会、地域内事業者、地域住民（順不同）

元村地域

幸せづくり活動プラン

～すこやか 安心 やすらぎ～



目指す!
地域の姿

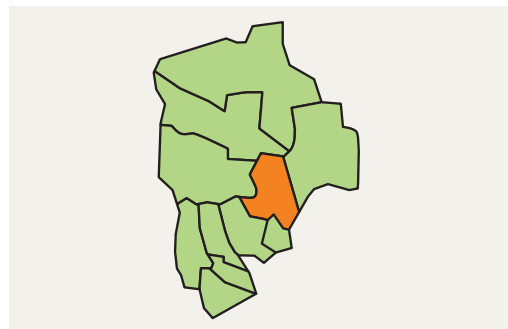
すこやかに安心して暮らせる

川と緑と名所を活かしたやすらぎのまち

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、滝沢市のほぼ中央部に位置し、南北に東北自動車道、主要地方道盛岡環状線が走り、また地域内には秋には鮭が遡上する諸葛川が流れ地域にうるおいをあたえてくれます。

平蔵沢の堤や滝の沢、五龍の藤、外山桜並木、湯舟沢ストーンサークルなど名所も多く、歴史と文化、自然や農地、住宅街の調和がとれた地域が形成されています。



● 元村地域づくり懇談会(元村南自治会、国分自治会、元村中央自治会、法誓寺自治会、元村東自治会、元村西自治会、元村北自治会、あすみ野自治会)

【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・
景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物
があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

元村地域の情報

	元村地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	17,441	31.5%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	6,800	30.4%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	1,378	20.3%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	677	10.0%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	8,207	30.1%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	265	3.2%	1,399	5.1%		
2次産業	1,985	24.2%	6,100	22.4%		
3次産業	5,957	72.6%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	17,377	31.8%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	1,035	5.9%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	2,230	12.8%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	2,896	16.6%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	3,957	22.7%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	3,497	20.1%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	3,762	36.2%	13,332		24.4%

元村地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※滝沢ふるさと交流館	土沢265-3	687-5511	※滝沢小学校	外山86-19	687-2314
つばめ幼稚園	牧野林1030-2	687-2544	※滝沢中学校	外山86-20	684-1771
元村保育園	外山86-17	684-2222	※月ヶ丘小学校	穴口328	684-3744
牧の林すずの音保育園	牧野林891-8	699-2230	※北陵中学校	穴口419	684-3323
りんごの森保育園	鵜飼細谷地146-45	687-3000	盛岡北高等学校	牧野林298-1	687-2311
埋蔵文化財センター	湯舟沢327-13	694-9001	みたけ支援学校	穴口218-4	641-0789

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政が連携し取り組む課題)

重要度

- ① 地域の活動拠点となる集会施設の整備が必要です。
- ② 安全な通学路確保のため道路整備が必要です。
- ③ 防犯機能を高めるため交番の設置が求められます。
- ④ スマートインターチェンジ周辺の整備について検討が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 地域の交通安全のため、「みまもり会」等の会員拡大に取り組めます。
- ② 快適な生活環境の確保と自然環境の保全に取り組めます。
- ③ 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ④ 元村地域全体で連携を深め活発な地域活動に取り組めます。
- ⑤ 適正な生活雑排水処理に取り組めます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

周辺地域とのアクセスを確保した安全で快適な暮らしと、
地域の川や緑を活かしたうるおいある生活環境をつくろう

- ▶ 1. 地域内の消防団、自主防災組織で連携し災害に対応します。
- ▶ 2. 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全確保に取り組みます。
- ▶ 3. 木賊川遊水地の利活用について地域で検討します。

基本方針 2

平蔵沢の堤や滝の沢、五龍の藤、外山の桜並木など、地域の名所を大切にし、市民の憩い場として整備しよう

- ▶ 1. 地域の名所等の保全方法について検討を進めます。
- ▶ 2. 地域内の公園を定期的に清掃します。
- ▶ 3. 名所や自然と親しむイベントを企画し住民相互の親睦を深めます。

基本方針 3

街路の整備を促進し、市街地を形成しながら、農業と調和した地域づくりを進めよう

- ▶ 1. スマートインターチェンジ周辺の土地利用について地域で合意形成を図ります。
- ▶ 2. 産直施設を活用し地産地消の取り組みを進めます。
- ▶ 3. 災害に強い道路網の整備を進めます。

基本方針 4

住民が交流を深めながら、高齢社会において安心して暮らし働くことができる自立した地域をつくろう

- ▶ 1. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域を目指します。
- ▶ 2. 「放課後子ども教室」を地域で支援し、教室の充実を図ります。
- ▶ 3. 諸葛川、木賊川、市兵衛川等の清掃、草刈りなどの清流化の活動を継続します。
- ▶ 4. ゴミだしルールの周知徹底を図り、適正にゴミ集積所を管理します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
(子どもが)身近に体を動かして遊べる機会があること
- ② 象徴指標
子どもが屋外で過ごす日数(1週間)
- ③ 活動モデル
親などが、子どもと一緒に屋外で過ごす時間をつくる

- ④ どのように具体的に取り組むか
気軽に集まれるように公園の清掃
- ⑤ 活動団体・組織
子ども会、地区生徒会、老人クラブ、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
- ② 象徴指標
子どもが安全に通学できている人の割合
- ③ 活動モデル
(子どもが)毎朝、スクールガードの皆さんに挨拶をする

- ④ どのように具体的に取り組むか
世代を超えた「あいさつ運動」の展開
- ⑤ 活動団体・組織
PTA、小中学校、老人クラブ、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ② 象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③ 活動モデル
地域のお祭りやサークルなどに参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
顔を合わせて交流ができるイベントの企画
- ⑤ 活動団体・組織
各種サークル等、まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

PTAや子ども会などに積極的に関わる

④ どのように具体的に取り組むか

地域で子どもの安全について話し合う

⑤ 活動団体・組織

PTA、小中学校、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

豊かな自然を活かして、リフレッシュできること

② 象徴指標

定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合

③ 活動モデル

仲間と滝沢市の自然に触れ合える機会を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

情報共有を図りイベントにみんなで参加する

⑤ 活動団体・組織

各種イベント等実行委員会、まちづくり推進委員会、老人クラブ、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること

② 象徴指標

自分の散歩コースを持っている人の割合

③ 活動モデル

自然にふれあえる散歩コースを地域で決める

④ どのように具体的に取り組むか

ウォーキングイベントを企画する

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	(子どもが) 身近に 体を動かして遊べ る機会があること	地域の皆さんに (子どもが) 見 守られていること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちが地域 で遊んだり、学 んだりする機会に 恵まれていること	豊かな自然を活 かして、リフレッ シュできること	豊かな自然とふれ あいながら、健 康増進が図られ る機会があること
Point						
象徴指標	子どもが屋外 で過ごす日数 (1週間)	子どもが安全に 通学できると感 じる人の割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	参加したいと思 える地域行事 の数	定期的に自然 と親しむ機会 を持っている人 の割合	自分の散歩コー スを持っている 人の割合
活動 モデル	親などが、子ど もと一緒に屋外 で過ごす時間を つくる	(子どもが) 毎朝、 スクールガードの 皆さんに挨拶を する	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	PTAや子ども会 などに積極的に 関わる	仲間と滝沢市の 自然に融合える 機会を持つ	自然にふれあえる 散歩コースを地 域で決めてみる
Point						
どのように 具体的に 取り組むか	気軽に集まれ るように公園の 清掃する	世代を超えた 「あいさつ運 動」の展開	顔を合わせて 交流ができるイ ベントの企画	地域で子ども の安全につい て話し合う	情報共有を図り イベントにみん なで参加する	ウォーキングイ ベントを企画 する
活動団体 組織	子ども会 地区生徒会 老人クラブ 自治会 ほか	PTA 小中学校 老人クラブ 自治会 ほか	各種サークル等 まちづくり推進委員会 自治会 ほか	PTA 小中学校 自治会 ほか	各種イベント等実 行委員会 まちづくり推進委員会 老人クラブ 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 老人クラブ 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	<ul style="list-style-type: none"> 元村地域まちづくり推進委員会設立 (元村地域8自治会) 土地の活用と保全、交通・通信、うるおいある地域環境、くらしとコミュニティの4部会で推進
2005年 (H17年)	<ul style="list-style-type: none"> 元村地域河川清流化推進事業 (河川環境の勉強会開催) 平蔵沢堤活用事業 (水辺空間の公園整備) 元村地区観光マップの作成と観光名所標示板設置事業 (手づくりの観光マップ作成、案内掲示板) 環境にやさしいゴミ処理推進事業「ストックヤード」設置、子供会活動を支援
2006年 (H18年)	<ul style="list-style-type: none"> 元村地域河川清流化推進事業 (諸葛川流域地域と連携を図りEM菌の活用、河川の清掃、水質調査等実施) 平蔵沢堤活用事業 (水辺空間の公園整備)
2007年 (H19年)	<ul style="list-style-type: none"> 元村地域河川清流化推進事業 (諸葛川流域地域と連携を図りEM菌の活用、河川の清掃、水質調査等実施を開始現在に至る)
2008年 (H20年)	<ul style="list-style-type: none"> 平蔵沢堤活用事業 (堤周辺の環境整備)
2010年 (H22年)	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化啓蒙活動事業 (EM菌による環境保全の啓発チラシ作成、配布) 交通・通信部会で地域の基盤整備に係る要望活動
2011年 (H23年)	<ul style="list-style-type: none"> EM菌による環境整備事業 (EM菌を製造諸葛川の流域自治会へ配布による河川の浄化)
2012年 (H24年)	<ul style="list-style-type: none"> EM菌による環境整備事業 (EM菌培養管理体制の整備)
2019年 (H31年)	<ul style="list-style-type: none"> 滝沢中央小学校開校



元村地域づくり懇談会

元村南、国分、元村中央、法誓寺、元村東、元村西、元村北、あすみ野各自治会役員、元村地域まちづくり推進委員会、滝沢小学校、老人クラブ、子ども会育成会、地区生徒会保護者（順不同）

室小路地域 幸せづくり活動プラン

～明るく・楽しく・便利・安全～



室小路の夏祭り・なでしこ保育園友情参加

目指す!
地域の姿

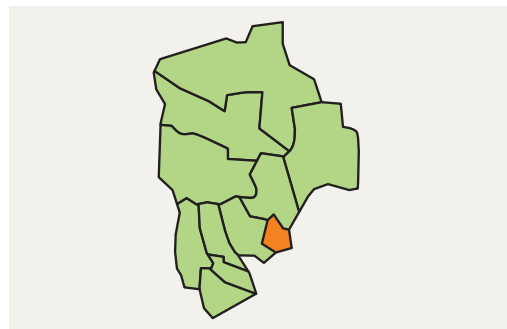
ささえあう 心はひとつ 室小路

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、平成4年頃からの区画整理事業にともない整備された住宅街と秋には鮭が遡上する諸葛川をはじめとした豊かな自然環境が共存している地域です。

また「室小路遺跡群」が縄文から平安時代頃まで広がり歴史の深い地域でもあります。

地域では子どもから高齢者まで幅広い世代で活動に取り組み、安全安心なまちづくりを目指しています。



● 室小路地域づくり懇談会(室小路自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



室小路のさんさ踊り



自治会主催の敬老会



みんなで植樹した、桜並木



元気な子どもたち・みこし



室小路の夏祭り・なでしこ保育園友情参加

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

室小路地域の情報

	室小路地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,624	4.7%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	1,029	4.6%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	145	14.1%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	78	7.6%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,204	4.4%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	13	1.1%	1,399	5.1%		
2次産業	240	19.9%	6,100	22.4%		
3次産業	951	79.0%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	2,624	4.8%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	188	7.2%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	438	16.7%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	492	18.8%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	724	27.6%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	435	16.6%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	347	13.2%	13,332		24.4%

室小路地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
室小路公民館	室小路124-5	687-1075	なでしこ保育園 子育て支援センター	室小路251-2	699-3080
※鵜飼小学校	鵜飼同畑87-1	687-2004	※滝沢南中学校	鵜飼滝向11-1	687-2021

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 新公民館の建設が地域の課題です。
- ② ごみ集積所を全アパートに設置義務の条例制定が課題です。
- ③ 世帯数の増加に伴い適正なゴミ集積所の配置が必要です。
- ④ 未舗装道路の解消と家屋浸水防止の雨水側溝の設置が課題です。
- ⑤ 滝沢中央小学早期建設と安全な通学路確保が課題です。
- ⑥ 幅員のせまい地域のごみ集積所の設置が課題です。
- ⑦ 公園草取り等の環境整備が課題です。
- ⑧ 横断歩道をメイン道路、南、北の2ヶ所設置が課題です。
- ⑨ 事故防止の為にメイン道路ドウダンツツジ全撤去が課題です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 市役所等の各委員を確保することが課題です。
- ② アパート等の班長さん意識の向上が課題です。
- ③ ごみ集積所を各アパートの管理者に設置していただくことが課題です。
- ④ 高齢者宅等の除雪ボランティア、見守り等が課題です。
- ⑤ 一斉清掃の参加者が少ないのが課題です。
- ⑥ 違法駐車解消、交通マナー向上、交通事故防止が課題です。
- ⑦ ゴミの出し方のマナー向上が課題です。
- ⑧ 犬の糞等、マナー向上が課題です。
- ⑨ 各区、組織の確率、企画立案機能強化が課題です。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

安全安心で快適な暮らしと、地域の川や緑を活かしたうおいある生活環境をつくろう

- ▶ 1. 自主防災会の活動を推進し、子ども・老人・弱者を含めた地区住民の安全対策活動を行います。
- ▶ 2. 避難場所として、室小路公民館の機能充実を図ります。
- ▶ 3. 暗い夜道を安全にするために防犯灯の増設を市に要望し、管理を行います。
- ▶ 4. スクールガードや防犯パトロール活動を行います。
- ▶ 5. 交通事故を防ぐため交通規制、除雪等を関係機関に要望します。
- ▶ 6. 諸葛川の自然に触れ合う事業を展開します。

基本方針 2

快適な環境のもと暮らすことができる地域をつくろう

- ▶ 1. 不足するごみ集積所について関係機関と協力し解消に取り組みます。
- ▶ 2. ごみ集積所の適正管理に努めるとともに、ごみ減量活動を行います。
- ▶ 3. 地域の環境を守るため、道路、公園等の清掃美化活動を展開します。
- ▶ 4. 飼い主のペットマナーの向上に取り組みます。
- ▶ 5. 地域内の情報共有を図るため班長会議内容、市広報等各種お知らせの配布を行います。

基本方針 3

地域住民の交流を図りながら、活気のある地域をつくろう

- ▶ 1. 子ども会、中学校地区生徒会、老人クラブ室小路会と連携し、世代間交流活動を展開します。
- ▶ 2. 地域住民相互の親睦を深めるため、夏祭り、スポーツ行事等を実施します。
- ▶ 3. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。
- ▶ 4. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域をつくります。
- ▶ 5. 新室小路公民館建設に向けた建設計画の検討を行います。
- ▶ 6. 「室小路遺跡」など郷土の歴史を学ぶ機会を設けます。
- ▶ 7. 各種、講演会を開催します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に(子どもの)世話をしてくれる人がいる

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる

④ どのように具体的に取り組むか

地域の子育て支援センターを利用する

⑤ 活動団体・組織

保育園、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

悩みを相談できる相手や機会がある

② 象徴指標

悩みを相談できる相手がいる割合

③ 活動モデル

親などが子どもの悩みを知る・学ぶ機会を地域で設ける

④ どのように具体的に取り組むか

一日の出来事を子どもと話す時間をつくる

⑤ 活動団体・組織

小中学校、地区PTA育成会、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の方々と交流の機会がある

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域のお祭りやサークルなどに参加する

④ どのように具体的に取り組むか

夏祭りに参加してみる

⑤ 活動団体・組織・消防団

自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
子どもたちの成長を確認できること
- ② 象徴指標
子どもとの会話の時間
- ③ 活動モデル
毎日、子どもと会話をする

- ④ どのように具体的に取り組むか
食事の間はテレビを消してみる
- ⑤ 活動団体・組織・消防団
自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
世代を超えて交流する機会がある
- ② 象徴指標
地域活動に参加する人の割合
- ③ 活動モデル
スクールガードに参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
笑顔でのあいさつを心掛ける
- ⑤ 活動団体・組織・消防団
自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
いざという時にも、助け合える繋がりがある
- ② 象徴指標
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③ 活動モデル
地域がひとり暮らしの世帯を把握している

- ④ どのように具体的に取り組むか
地域の行事に参加し交流を深める
- ⑤ 活動団体・組織
老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に(子ども の)世話をしてく れる人がいる	悩みを相談でき る相手や機会が ある	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちの成長 を確認できること	世代を超えて交流 する機会がある	いざという時に も、助け合える 繋がりがある
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相手 がいる親の割 合	悩みを相談でき る相手がいる 割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	子どもとの会話 の時間	地域活動に参 加する人の割 合	いざという時 に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子育て世代が気 軽に集まれる機 会を地域でつくる	親などが子ども の悩みを知る・学 ぶ機会を地域で設 ける	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	毎日、子どもと会 話をする	スクールガードに 参加する	地域がひとり暮ら しの世帯を把握 している
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	地域の子育て 支援センターを 利用する	一日の出来事 を子どもと話す 時間をつくる。	夏祭りに参加し てみる	食事の間はテレ ビを消してみる	笑顔でのあいさ つを心掛ける	地域の行事に 参加し交流を 深める
活動団体 組織	保育園 育成会 自治会 ほか	小中学校 地区PTA育成会 子ども会育成会 自治会 ほか	自治会 ほか	自治会 ほか	自治会 ほか	老人クラブ 消防団 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
1971年（S46年）	・室小路自治会設立
1986年（S51年）	・室小路公民館建設（1世帯3万円の寄付で建設）
1992年（H4年）	・区画整理事業により人口が増え始まる
2005年（H17年）	・元村南自治会より分離独立し滝沢村自治会連合会へ「室小路自治会」として加盟
2010年（H22年）	・新設小学校室小路地区に建設発表平成28年開校
2011年（H23年）	・東日本大震災、室小路公民館に避難場所開設 ・新設小学校平成29年開校に変更
2013年（H25年）	・室小路自主防災会を設立
2014年（H26年）	・区制を導入。地域内を3区に定め活動の深化を図る ・元村地区連絡協議会、まちづくり委員会より分離独立
2015年（H27年）	・地域別計画、室小路地区幸せづくり活動プラン策定

2019年（H31年）	・滝沢中央小学校開校
-------------	------------

室小路地域づくり懇談会

室小路自治会役員・理事・班長合同会議メンバー

東部地域

幸せづくり活動プラン

～ふれあいとゆとり～

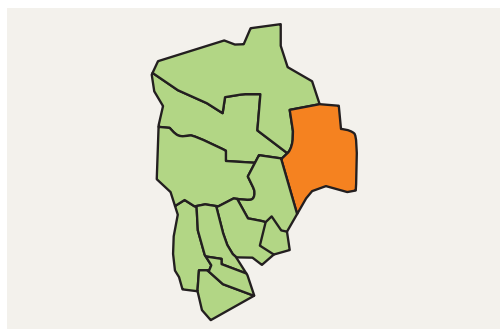


目指す！
地域の姿

世代を超え、住む人みんなで創る、
ふれあいとゆとりの研究学園都市

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、東に姫神山、西北に岩手山を仰ぎ、県立大学や盛岡大学そして数々の研究施設を存し、県内でも有数の文教地域を形成しています。さらに産業文化センター、森林公園、ネイチャーセンターなどがあり、自然と調和のとれた地域です。また、国道4号、282号、県道盛岡環状線、IGRいわて銀河鉄道滝沢駅、巣子駅、東北自動車道滝沢ICがあり交通拠点として、商業施設、金融機関や医療機関が立地し、新しいまちづくりが進んでいます。



● 東部地域づくり懇談会 (川前自治会、長根自治会、巣子自治会、南巣子自治会)
【計画期間：平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

東部地域の情報

	東部地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	15,074	27.3%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	6,445	28.8%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	1,336	20.7%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	653	10.1%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	7,450	27.3%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	216	2.9%	1,399	5.1%		
2次産業	1,693	22.7%	6,100	22.4%		
3次産業	5,541	74.4%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	15,074	27.6%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	711	4.7%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	1,758	11.7%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	2,936	19.5%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	2,940	19.5%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	3,193	21.2%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	3,536	23.5%	13,332		24.4%

東部地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
川前保育園	巢子152-91	688-4145	岩手県立大学	巢子152-52	694-2000
巢子保育園	葉の木沢山442-6	688-2270	盛岡大学	砂込808	688-5555
ハレルヤ保育園	葉の木沢山555-5	688-6773	※東部出張所	葉の木沢山460-1	688-1562
南巢子保育園	巢子1162-37	688-7706	滝沢交番	巢子1208-9	688-4331
あさひ幼稚園	巢子850	688-4333	滝沢駅前郵便局	野沢62-139	688-4831
※滝沢第二小学校	巢子156-8	688-4002	巢子簡易郵便局	巢子1177-14	688-5006
※滝沢東小学校	狼久保795-1	688-6602	滝沢消防署北出張所	巢子992-21	688-0119
※滝沢第二中学校	巢子152-91	688-4907	※東部体育館	大崎94-7	688-4872
盛岡農業高等学校	砂込1463	688-4211	I GR滝沢駅	野沢90	688-8370
岩手産業文化センター	砂込389-20	688-2000	I GR巢子駅	巢子281	694-9622
IPUインベーションセンター	巢子152-378	681-1037	ネイチャーセンター	砂込1533-1	688-5522

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政が連携し取り組む課題)

重要度

- ① 第1 巣子線の歩道設置を含めた拡幅改良整備が必要です。
- ② 国道4号沿いに市の観光と物産をPRする施設が必要と考えます。
- ③ 地域活動の拠点となるコミュニティセンターの新設が必要です。
- ④ 滝沢駅の駅舎は利用者が増え手狭になっています。
- ⑤ 大崎跨線橋は歩道もなく狭いため大変危険です。
- ⑥ 防犯機能を高めるため巣子駅近辺への交番の移設が求められます。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 子どもや高齢者を含めた歩行者の安全の確保に取り組めます。
- ② 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組めます。
- ③ 災害に備え大学や研究機関、企業等との連携体制を構築します。
- ④ 安心して子育てできる地域環境を目指します。
- ⑤ 公共交通機関の利用促進に取り組めます。
- ⑥ 快適な生活環境の確保と自然環境の保全ため適正な雑排水処理に取り組めます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

文教・研究施設との交流・連携を深め、生涯学習などを楽しみ、心豊かに暮らしていける地域にしよう

- ▶ 1. 大学等が実施する公開講座、研修会等に参加し、交流を進めます。
- ▶ 2. 介護や生涯学習などをテーマに大学等と協働で活動します。
- ▶ 3. IPUイノベーションセンターとの活用を地域で検討します。
- ▶ 4. 県立大学の学生ボランティアセンターと協働で地域づくりを進めます。
- ▶ 5. 地域に居住する学生の自治会活動への参加を促進します。

基本方針 2

子どもから高齢者までが、健康で暮らしやすい生活環境と地域で支える福祉の向上を推進する地域にしよう

- ▶ 1. 交通事故の無い地域を目指しスクールガード活動に参加します。
- ▶ 2. バスや鉄道など公共交通の利用を促進します。
- ▶ 3. 下水道の未整備地区解消のために地域で話し合いをします。
- ▶ 4. 地域内の公園を定期的に清掃します。
- ▶ 5. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域を目指します。
- ▶ 6. 学童保育クラブの活動を地域で支援します。
- ▶ 7. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。

基本方針 3

防災や利便性に配慮した道路ネットワークとともに、
にぎわいとうるおいのある市街地を形成する地域にしよう

- ▶ 1. 広域の自主防災組織で連携し災害に対応します。
- ▶ 2. 災害時に地域の企業と連携が取れるようネットワークを構築します。
- ▶ 3. 警察と協働で青少年非行や不審行為の無い地域を築きます。
- ▶ 4. いわて銀河鉄道線のマイレール意識高揚を図り、鉄道利用を促進します。
- ▶ 5. 市中心部への幹線道路を整備し活発な交流を図ります。
- ▶ 6. 「滝沢山車まつり」や「川前夏祭り」など地域内のにぎわいと交流のある行事を実施します。

基本方針 4

巢子川を地域で大切にし、さらに地域内の恵まれた景観を維持することにより、
思わず歩きたくなるような環境作りをする地域にしよう

- ▶ 1. 巢子川の清掃、草刈りなどの清流化の活動を継続します。
- ▶ 2. 森林公園一帯を活用し自然と親しむイベントを開催します。
- ▶ 3. 「ヤマユリの里」を目指し公園や沿道に植栽し地域協働で管理します。
- ▶ 4. 美しい街並みを保つため、地域で草刈やゴミ拾いなど清掃活動を展開します。
- ▶ 5. ゴミだしルールの周知徹底を図り、互いに声を掛け適正にゴミステーションを管理します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

- ・子育て支援センターを利用する
- ・家族が近所づきあいを心掛ける

④ どのように具体的に取り組むか

家庭であいさつを交わす

⑤ 活動団体・組織

保育園、幼稚園、子育て支援センター、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

(子どもが)夢中になって取り組めることがあること

② 象徴指標

子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合

③ 活動モデル

(子どもの)努力を家族が応援してくれる

④ どのように具体的に取り組むか

運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く

⑤ 活動団体・組織

PTA、小中高等学校、学童保育クラブ、スポーツ少年団、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域行事、イベント、サークルなどに参加する

④ どのように具体的に取り組むか

地域でサークル活動の支援をする

⑤ 活動団体・組織

各種サークル等、PTA、子育て支援センター、学童保育クラブ、老人クラブ、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

近所の子どもと顔見知りになる

④ どのように具体的に取り組むか

笑顔であいさつを交わす

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、PTA、
自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること

② 象徴指標

趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合

③ 活動モデル

自分の趣味や特技を一緒に出来る仲間を持つ

④ どのように具体的に取り組むか

地域のイベントに参加したり、大学を活用して交流を深める

⑤ 活動団体・組織

老人クラブ、各種イベント実行委員会、
イノベーションセンター、大学、
企業、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

緊急時の連絡先を分るところに掲示しておく

④ どのように具体的に取り組むか

「緊急対応カード」の更新を行う

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、
老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	(子どもが)夢中 になって取組める ことがあること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちが地域 で遊んだり、学 んだりする機会に 恵まれていること	自ら学び、趣味や 地域活動に積極 的に取り組める機 会があること	いざという時に も、助け合える 繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相 手がいる親の 割合	子どもが夢中にな って取組める ことがあると感 じる人の割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	参加したいと思 える地域行事 の数	趣味や特技を 披露できる機 会が地域にあ る人の割合	いざというとき に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子どもが気軽に 行き来できるよ うな近所づきあ いを心掛ける	(子どもの)努力 を家族が応援して くれる	地域行事、イベ ント、サークルな どに参加する	近所の子とも 顔見知りになる	自分の趣味や特 技と一緒に出来 る仲間を持つ	緊急時の連絡先 を分るところに掲 示しておく
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	笑顔であいさつ を交わす	運動会や学習 発表会、文化 祭には、家族 みんなが見に 行く	地域でサーク ル活動の支援 をする	笑顔であいさつ を交わす	地域のイベント に参加し交流 を深める	「緊急対応カー ド」の更新を 行う
活動団体 組織	保育園 子育て支援センター 自治会 ほか	PTA 小中高等学校 学童保育クラブ スポーツ少年団 自治会 ほか	各種サークル等 保育園 学童保育クラブ 老人クラブ 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 PTA 自治会 ほか	老人クラブ 各種イベント実行委員会 イノベーションセンター 大学 企業 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 老人クラブ 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・ 東部地域まちづくり推進委員会設立 (東部地域4自治会)
2004年 (H16年)	・ 高齢者のセフティネット形成事業 (県立大学と協働で緊急連絡表を作成配布)
2005年 (H17年)	・ 巣子川水質改善事業 (水質調査、水生物調査、EM菌による巣子川清流化事業) ・ 植物での安らぎ地域づくり推進事業 (山ゆりの栽培と普及)
2006年 (H18年)	・ 巣子川水質改善事業 (EM菌培養設備整備、水質調査、水生物調査、清流化事業) ・ 植物での安らぎ地域づくり推進事業 (学習展示栽培場設置しヤマユリ等の増殖、有用山野草の保護、栽培研究会開催)
2007年 (H19年)	・ 巣子川水質改善事業 (EM菌による河川清流化) ・ 植物での安らぎ地域づくり推進事業 (ヤマユリ等の増殖等)
2009年 (H21年)	・ 東部まちづくり通信「おらっほのまちNo.1」発行 ・ 高齢者サポートネットワーク整備事業 (緊急対応IDカード作成、6,000世帯に配布)
2010年 (H22年)	・ スマイルハートあいさつ運動 (あいさつを奨励するポスター・看板を作成、あいさつ運動展開) ・ 第1回グラウンドゴルフ大会開催 (運動で交流促進)
2012年 (H24年)	・ 世代間交流事業 (保育園児とクイックスイートの収穫)
2014年 (H26年)	・ 東部まちづくり通信「おらっほのまちNo.14」発行



東部地域づくり懇談会

川前、長根、巣子、南巣子各自治会役員、各保育園、滝沢第二小学校、滝沢東小学校、滝沢第二中学校、東部地域まちづくり推進委員会、各小中学校PTA、学童保育クラブ、子ども会育成会、老人クラブ、消防署北出張所、岩手県立大学、滝沢駅前振興会（順不同）

柳沢地域

幸せづくり活動プラン

～人々が集い、ほっとするふるさと 柳沢～



げんまん柳沢

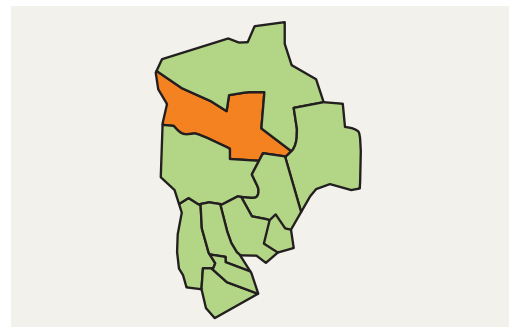
目指す!
地域の姿

岩手山の麓で人々が集い、
ほっとするふるさと森と酪農の柳沢

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、岩手山東南部に位置し、山麓の丘陵地は戦後に開拓され、現在広大な森林を背景に公共牧野や飼料畑が広がり、酪農が盛んな地域です。近年は山麓の自然に魅力を感じた工芸家に移り住み、木工、陶器などの工芸品の生産も行われています。

地域で、県道沿線の紅山桜並木や唐松並木、またカタクリ、水芭蕉などの生息地の保全など地域景観の形成に取り組み、住民の憩う場の創出に努めています。



● 柳沢地域づくり懇談会(柳沢自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1 地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

柳沢地域の情報

	柳沢地区		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	908	1.6%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	383	1.7%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	119	31.1%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	71	18.5%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	484	1.8%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	99	20.5%	1,399	5.1%		
2次産業	124	25.6%	6,100	22.4%		
3次産業	261	53.9%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	908	1.7%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	35	3.9%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	103	11.3%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	118	13.0%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	166	18.3%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	209	23.0%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	277	30.5%	13,332		24.4%

柳沢地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※柳沢小中学校	柳沢1171	688-2221	滝沢清掃センター	大石渡332-2	688-2464
※柳沢地区コミュニティセンター	大石渡1522-6	688-6660	※北部コミュニティセンター	巣子148	688-5111

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 車の往来が多い大石渡交差点付近の道路に歩道の整備が望まれます。
- ② 市街地との公共交通について検討します。
- ③ 豪雪地帯でありながら広大な面積と人口密度が低い地域性であることに配慮した除雪対策が必要です。
- ④ 地域の農産物を加工し販売できる施設を活用し、観光客が立ち寄れる環境の整備が必要です。
- ⑤ 地域内の防犯灯の早期LED化を推進します。
- ⑥ 広い地域なので各地域の核となる集会施設整備が望まれます。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 岩手山麓柳沢地域景観形成住民協定に基づき、岩手山の麓に広がる美しい景観の保全活動を推進します。
- ② 地域づくりの情報を共有し地域活性化を図ります。
- ③ 地域への交流人口を増やす取組を継続します。
- ④ 地域ぐるみで高齢者・要支援者の見守り活動に取り組みます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

地域の歴史や技を伝えながら、住民の結びつきを大切に交流を進め、暮らしやすい地域を築こう

- ▶ 1. 通学時にスクールガード活動など交通安全指導を行います。
- ▶ 2. 景観パトロールなどを行い地域の力で美しい景観を守ります。
- ▶ 3. 清掃センターと協働でゴミの不法投棄を減らします。
- ▶ 4. 総合学習の食育授業に出向き世代間交流を行います。
- ▶ 5. 地域資源を活用し伝統文化に触れ合う機会を提供します。
- ▶ 6. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域をつくります。

基本方針 2

雄大な岩手山麓の景観や地域の達人など、地域の宝物を活かして、地域住民や来訪者も楽しめる地域にしよう

- ▶ 1. グリーンツーリズム、日曜朝市など交流人口を増やす取り組みを行います。
- ▶ 2. 紅山桜の里をピーアールできるイベント等を企画します。
- ▶ 3. 岩手山麓柳沢地域景観形成住民協定「げんまん柳沢」の活動を継続し、環境保全に取り組みます。
- ▶ 4. 他の岩手山麓地域と連携を図り地域の魅力をピーアールします。

基本方針 3

豊かな地域資源の有効活用を図りながら、農業の高度化や観光との連携を進め、地域の産業を活性化しよう

- ▶ 1. ガーデニングや家庭菜園に地域の堆肥を活用します。
- ▶ 2. 新鮮な野菜や地域内の逸品の購入について取り組みます。
- ▶ 3. 他の地域へ地域産品のピーアール活動を行います。
- ▶ 4. 地域活動には地元企業から商品を購入します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

①幸福感を育む象徴的要素

親以外に(子どもの)世話をしてくれる人がいること

②象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③活動モデル

子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる

④どのように具体的に取り組むか

地域の行事にご近所さんを誘ってみる

⑤活動団体・組織

保育園、亀鶴会、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

①幸福感を育む象徴的要素

(子どもが)悩みを相談できる相手や機会を持っていること

②象徴指標

子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合

③活動モデル

親などが子どもの悩みを知る・学ぶ機会を地域で設ける

④どのように具体的に取り組むか

一日の出来事を家族で話す時間をつくる

⑤活動団体・組織

小中学校、PTA、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

①幸福感を育む象徴的要素

地域の皆さんと交流の機会があること

②象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③活動モデル

地域のお祭りやサークルなどに参加する

④どのように具体的に取り組むか

盆踊り大会や冬まつりに行ってみる

⑤活動団体・組織

自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

- ・子どもたちの成長を確認できること
- ・子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

- ・子どもとの会話の時間(1週間)
- ・参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

- ・育児について相談・助言してくれる相手を持つ
- ・PTAや子ども会に積極的に関わる

④ どのように具体的に取り組むか

小中学校や地域のイベントに参加し交流を深める

⑤ 活動団体・組織

小中学校、PTA、子ども会育成会、まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

世代を超えて交流する機会があること

② 象徴指標

ここ1年で地域活動に参加した人の割合

③ 活動モデル

自治会活動など地域活動に参加する

④ どのように具体的に取り組むか

地域のイベントに参加し交流を深める

⑤ 活動団体・組織

地域まちづくり推進委員会、げんまん柳沢、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

高齢者のネットワークを築く

④ どのように具体的に取り組むか

ピンコロクラブに参加する

⑤ 活動団体・組織

地域まちづくり推進委員会、亀鶴会、消防団、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	(子どもが)悩み を相談できる相手 や機会があること	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	①子どもたちの 成長を確認でき ること ②子どもたちが地 域で遊んだり、学 んだりする機会に 恵まれていること	世代を超えて交 流する機会があ ること	いざという時に も、助け合える 繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相手 がいる親の割 割合	子どもが悩みを 相談できる相手 がいると感じ る人の割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	①子どもとの会 話の時間(1週 間) ②参加したいと 思える地域行 事の数	ここ一年で地 域活動に参加 した人の割合	いざという時 に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子育て世代が気 軽に集まれる機 会を地域でつくる	親などが子ども の悩みを知る・学 ぶ機会を地域で設 ける	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	①育児について 相談・助言してく れる相手を持つ ②PTAや子ども 会に積極的に関 わる	自治会活動など 地域活動に参加 する	高齢者のネット ワークを築く
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	地域の行事に ご近所さんを 誘ってみる	一日の出来事 を子どもと話す 時間をつくる。	盆踊り大会や 冬まつりに行っ てみる	小中学校や地 域のイベントに 参加し交流を 深める	地域のイベント に参加し交流 を深める	ピンコロクラブ に参加する
活動団体 組織	保育園 亀鶴会 育成会 自治会 ほか	小中学校 PTA 育成会 自治会 ほか	自治会 ほか	小中学校 PTA 育成会 地域まちづくり 推進委員会 自治会 ほか	地域まちづくり 推進委員会 げんまん柳沢 自治会 ほか	地域まちづくり 推進委員会 亀鶴会 消防団 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・柳沢地域まちづくり推進委員会設立 (コミュニティ、うるおい、土地の活用と保全交通部会)
2003年 (H15年)	・うるおい部会による「ホテル観察会」開始
2004年 (H16年)	・景観形成住民協定づくり事業 (景観形成住民協定の理解促進) ・自然環境の創造事業 (広葉樹植林による森林の維持保全)
2005年 (H17年)	・景観形成住民協定づくり事業 (柳沢点検ウォーキング、勉強会、アンケート実施) ・自然環境の創造事業 (馬返しキャンプ場南東斜面へ植樹)
2006年 (H18年)	・景観形成住民協定づくり事業 (住民協定の素案作成) ・岩手山麓柳沢地域景観形成住民協定げんまん柳沢を住民208戸、事業者36社、不在地主13名で締結 ・自然環境の創造事業 (相の沢牧野内の未利用地に広葉樹植林～H24植樹終了以降下草刈り等樹木の管理実施)
2008年 (H20年)	・遊休農地を活用した大豆の特産品化事業 (大豆の生産から豆腐作りやみそ作りを実施)
2009年 (H21年)	・遊休農地を活用した大豆の特産品化事業 (管理機を購入し、遊休農地を活用した大豆の栽培に役立てる) ・掲示板設置事業 (地域内22箇所のごみ集積所にコミュニティ 掲示板を設置し情報共有の促進を図る)
2010年 (H22年)	・遊休農地を活用した大豆の特産品化事業 (特産品化を見据え豆腐や味噌を生産) ・市民農園「クラインガルテン柳沢」開設
2011年 (H23年)	・柳沢ツーリズムの会体験メニュー確立事業 (交流人口増を目指し、地域で実施できる体験メニューの研究)

2012年（H24年）	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢ツーリズムの会体験メニュー確立事業（小学生民泊体験をジャガイモの栽培、収穫、調理を組合せて実施等） ・柳沢ICT普及活用支援事業（パソコン等簡単な操作方法の相談会開催）
2013年（H25年）	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢ツーリズムの会体験メニュー確立事業（下駄作り、そば打ち、箸づくり、草木染） ・柳沢ICT普及活用支援事業（ITサロン開設） ・馬返しおもてなし事業（馬返し登山口の東屋でそば・コーヒーを提供）
2014年（H26年）	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢ICT普及活用支援事業（ITサロン・講習会開設） ・「柳沢日曜朝市」で体験メニューを実施 ・現在まちづくり推進委員会はコミニティ部会、ツーリズム部会、大豆部会、ほたる部会で活動

柳沢地域づくり懇談会

柳沢自治会役員、柳沢地域まちづくり推進委員会、柳沢保育園、柳沢小中学校、小中学校PTA、子ども会育成会、防犯交通安全協会、桜の会、朝市の会、げんまん柳沢、老人クラブ、大石渡農業振興推進組合、農業委員、児童民生委員、市議会議員（順不同）

一本木地域

幸せづくり活動プラン

～豊かで、明るく、健やかに～

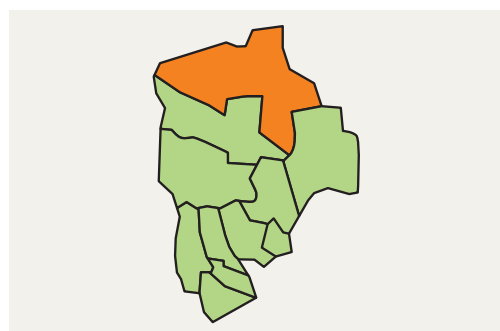


目指す!
地域の姿

岩手山麓に開き行く、みどりの里 一本木

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、岩手山麓に陸上自衛隊岩手駐屯地があり、地域内を走る国道282号の東側は水田、西側は畑地に利用され、沿線に集落を形成しています。地域には、一本木郵便局、青少年交流の家、北部コミュニティセンターなどの公共施設が設置され、住民の利便性の向上に寄与しています。今後は一本木バイパスの全線開通により豊かで、明るく、健やかな地域づくりが進められます。



- 一本木地域づくり懇談会(南一本木自治会、北一本木自治会、いずみ巣子ニュータウン自治会)
【計画期間:平成27年度～令和4年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

一本木地域の情報

	一本木地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,225	4.0%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	686	3.1%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	194	28.3%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	98	14.3%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,724	6.3%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	180	10.4%	1,399	5.1%		
2次産業	306	17.7%	6,100	22.4%		
3次産業	1,238	71.8%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	1,670	3.1%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	26	1.2%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	143	6.4%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	212	9.5%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	284	12.8%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	460	20.7%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	545	24.5%	13,332		24.4%

一本木公共施設情報

※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
一本木保育園	柳原74-1	688-2662	一本木駐在所	後290-36	688-4054
※一本木小学校	柳原22	688-4253	一本木郵便局	留が森347-125	688-4830
※一本木中学校	巣子148	688-4634	青少年交流の家	後292	688-4221
一本木学童保育クラブ	柳原197	688-0920	※北部コミュニティセンター	巣子148	688-5111

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 一本木バイパスの早期全線開通が望まれます。
- ② 若手就農者確保と魅力ある農業経営環境が求められます。
- ③ 老朽化した集会施設改修の支援が必要です。
- ④ 演習場など防衛施設の障害防止対策が求められます。
- ⑤ 適切な生活雑排水処理による環境保全の取り組みが求められます。
- ⑥ 健康増進遊具の設置や設備の更新が必要です。
- ⑦ 地域高齢者介護施設の整備が必要です。
- ⑧ 国道へ視認性のよいガードレールの設置が急務です。
- ⑨ 上水道の整備されていない地域の解消が必要です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 高齢者・要支援者の見守り活動に取り組みます。
- ② 安心して子育てできる環境を目指します。
- ③ 国道282号の速度制限に向け地域での合意形成を図ります。
- ④ 地域の集会施設の適正な管理運営に取り組みます。
- ⑤ 通学路の交通安全の確保に取り組みます。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

子どもたちや高齢者等が楽しく安全に暮らせる、人と人のつながりが強い地域にしよう

- ▶ 1. 子どもやお年寄りを含めた歩行者の安全確保のため、通学路などの草刈、ゴミ拾いを地域協働で行います。
- ▶ 2. 快適な生活環境の確保と地域の環境保全のため、適切な生活雑排水処理についての啓発に取り組みます。
- ▶ 3. 子どもが安全に遊び、高齢者など地域住民の誰もが、気軽に利用できるよう、定期的に集会所や公園の清掃を行います。
- ▶ 4. 児童が放課後安心して過ごせる学童保育クラブを地域で支援します。
- ▶ 5. 地域内の通学路などで防犯上の危険箇所の情報共有を図ります。
- ▶ 6. いきいきサロンなど高齢者が楽しめる機会を増やします。
- ▶ 7. 独居高齢者、要支援者宅などの見守り体制をつくります。

基本方針 2

農業地域と住宅地域の交流を図り、活力あるコミュニティをつくっていこう

- ▶ 1. 3自治会で親睦を深める機会を設けます。
- ▶ 2. 子ども会の資源回収活動に協力します。
- ▶ 3. 地域の集会施設の計画的な改修を実施します。
- ▶ 4. 消防団活動への理解と加入促進の活動を支援します。
- ▶ 5. ガーデニングや家庭菜園に地域の堆肥を活用します。
- ▶ 6. 地域みんなで「一本木秋まつり」を実施します。
- ▶ 7. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
- ②象徴指標
子どもと一緒に過ごす時間(1週間)
- ③活動モデル
大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける

- ④どのように具体的に取り組むか
元氣よく挨拶をする
- ⑤活動団体・組織
保育園、PTA、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
(子どもが)夢中になって取り組めることがあること
- ②象徴指標
子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合
- ③活動モデル
努力を家族が応援してくれる

- ④どのように具体的に取り組むか
運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く
- ⑤活動団体・組織
一本木小学校・中学校、PTA、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル
地域のお祭りやサークルなどに参加する

- ④どのように具体的に取り組むか
地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える
- ⑤活動団体・組織
秋まつり実行委員会、自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること

② 象徴指標

参加したいと思える地域行事の数

③ 活動モデル

近所の子どもと顔見知りになる

④ どのように具体的に取り組むか

大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける

⑤ 活動団体・組織

保育園、PTA、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

老後の生活設計が描けること

② 象徴指標

老後の生活設計に不安がない人の割合

③ 活動モデル

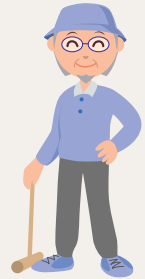
積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする

④ どのように具体的に取り組むか

地域活動に参加してみる

⑤ 活動団体・組織

まちづくり推進委員会、自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

① 幸福感を育む象徴的要素

いざという時にも、助け合える繋がりがあること

② 象徴指標

いざという時に、頼れる相手がいる人の割合

③ 活動モデル

ひとり暮らしの世帯を把握している

④ どのように具体的に取り組むか

普段から挨拶を心掛け地域のつながりを育む

⑤ 活動団体・組織

老人クラブ、民生児童委員、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	(子どもに) みんなが笑顔で接してくれること	(子どもが) 夢中になって取り組めることがあること	地域の皆さんと交流の機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	老後の生活設計が描けること	いざという時にも、助け合える繋がりがあること
Point						↘
象徴指標	子どもと一緒に過ごす時間(1週間)	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人割合	地域のお祭りや行事に参加した回数	参加したいと思える地域行事の数	老後の生活設計に不安がない人の割合	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
活動 モデル	大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	努力を家族が応援してくれる	地域のお祭りやサークルなどに参加する	近所の子どもと顔見知りになる	退職前後、積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする	ひとり暮らしの世帯を把握している
Point						↘
どのように具体的に 取り組むか	元氣よく挨拶をする	運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く	地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える	大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	地域の行事に参加してみる	普段から挨拶を心掛け地域のつながりを育む
活動団体 組織	保育園 PTA 自治会 ほか	一本木小学校・中学校 PTA 子ども会育成会 自治会 ほか	秋まつり実行委員会 自治会 ほか	保育園 PTA 子ども会育成会 自治会 ほか	まちづくり推進委員会 自治会 ほか	老人クラブ 民生委員 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
2002年 (H14年)	・ 一本木地域まちづくり推進委員会設立 (南一本木、北一本木、いずみ巣子ニュータウン自治会)
2004年 (H16年)	・ 通学路草刈、清掃活動実施、現在まで活動継続
2005年 (H17年)	・ 一本木地域通学路安全対策事業 (交通安全啓発看板を設置) ・ 北部コミュニティセンター前に防雪ネット設置
2006年 (H18年)	・ 一本木中学校通学路立木の枝払い・間伐事業 (通学路脇の立木を高所作業車使い伐採作業実施)
2008年 (H20年)	・ EM 菌についての勉強会開催
2009年 (H21年)	・ 一本木地区コミュニティセンター完成、供用開始 ・ 大相撲大関日馬富士一本木地区コミュニティセンター来訪
2010年 (H22年)	・ 大川地区コミュニティセンター完成、供用開始
2011年 (H23年)	・ 地域コミュニティ活性化事業 (秋祭り用の排水設備、かまどベンチを設置)

一本木地域づくり懇談会

南一本木、北一本木、いずみ巣子ニュータウン各自治会役員、一本木防犯交通安全協会、民生児童委員、交通指導員、子ども会育成会、老人クラブ、消防団第6分団、一本木小学校、一本木中学校、各小中学校PTA、一本木学童保育クラブ、一本木保育園（順不同）

小岩井

大釜

篠木

大沢

鵜飼

姥屋敷

元村

室小路

東部

柳沢

一本木

全地域共通の計画

地域づくり懇談会を単位とした計画地域とは別に、全ての地域、全ての市民が共通の認識で取り組むべき計画を次のとおり策定します。

テーマ1 健康づくり

滝沢市は、市民一人ひとりが健康に関する知識と実践する力（「健康行動」）を身につけ、地域一丸となって総合的な健康づくり運動を推進することを目的に、平成30年7月「健康づくり宣言」を行いました。それぞれの立場で健康づくりに取り組むことを推進することで健康寿命の延伸を目指し、「幸福の実感できる」活力ある地域づくりを推進します。

重要度

課題

- 1 健康診断の受診率を向上する必要があります。
- 2 個人が自身の健康状態を把握し、日々の健康管理に取り組む必要があります。
- 3 健康づくりに関する意識啓発が必要です。
- 4 健康づくりに関する活動機会の充実が求められます。
- 5 健康に配慮した食生活の改善が必要です。
- 6 高齢者世帯に対しての助け合いなどの活動が必要です。
- 7 体育施設の充実と利用促進が必要です。
- 8 健康づくりを推進するため、地域と行政の連携が必要です。

行動計画

- ▶ 1. ラジオ体操やウォーキングにより日常的に体を動かします。
- ▶ 2. 地域の声掛けなどにより、みんなで検診に行く取り組みを行います。
- ▶ 3. 趣味の集まりなどをきっかけに体を動かす活動を行います。
- ▶ 4. 日常的な健康管理により、自身の健康状態を把握します。
- ▶ 5. 健康づくりに関するイベント等に積極的に参加します。
- ▶ 6. 地域が一体となり、健康づくりに関する啓発と活動を実施します。
- ▶ 7. 検診会場までの交通手段を検討します。
- ▶ 8. 食育を通じた健康づくりの活動を行います。



テーマ2 安全・安心

近年、全国的に地球温暖化などの影響による大規模な自然災害が多く発生しており、日頃から市民の防災に対する意識及び備えが重要と考えられます。また、防災防犯、交通安全などへの恒常的な取り組みも必要であり、少子高齢化が進む中で、人と人とのつながりによる災害に強いまちづくりを目指すとともに、地域との連携による犯罪と事故のないまちづくりを推進します。

課題

重要度

- ① 地域内の人とのつながりの構築が必要です。
- ② 自主防災組織などにより自主的な安全対策が必要です。
- ③ 災害時を想定した防災訓練の実施が必要です。
- ④ 防災計画・防災マップの見直し、周知が必要です。
- ⑤ 車両、歩行者ともに安全に通行できる道路の整備が必要です。
- ⑥ 防災・災害に対する意識の啓発が必要です。
- ⑦ 災害時に備えた避難所の配置と周知が必要です。
- ⑧ 河川改修などにより、災害を未然に防ぐ取り組みが必要です。

行動計画

- ▶ 1. 災害を想定した防災訓練を実施し、災害時に備えた知識を習得します。
- ▶ 2. 交通安全に対する意識を高め、交通事故を未然に防止します。
- ▶ 3. 地域内の人とのつながりにより、安全安心な地域づくりを進めます。
- ▶ 4. 地域が一体となり、防災・災害に関する啓発と活動を実施します。
- ▶ 5. 地域が一体となり、防災・災害に関する啓発と活動を実施します。
- ▶ 6. 日頃から災害箇所や避難所を確認し、災害時に備えます。
- ▶ 7. 地域の見守りにより犯罪を防止し、安全安心な地域を構築します。
- ▶ 8. 地域の安全安心を守る人材を育成します。



